第42回全日本高校選手権大会

男子 熊本市商が3度目の正直

女子 宣真が夙川を降し初優勝

第42回全日本高校選手権大会は、8月2日から7日までの6日、静岡県清水市で開催された。

男子は熊本市商と浦和実の決勝戦となった。今回で3度目の決勝進出となった熊本市商は、1点を争う大接戦の末、終了3秒前の決勝シュートで劇的な初優勝を飾った。一方の女子は、宣真と夙川学院という近畿勢同士の決勝戦であったが、厳しいせり合いから抜け出した宣真が初の決勝進出で見事初優勝を飾った。

男子

1回戦

兵庫育英（兵庫）21〔14－9／7－9〕18 金沢市工（石川）

〔戦評〕試合開始直後は両チームとも堅さが目立ったが、5分を過ぎる頃よりお互い攻撃の動きが良くなり、ずらしからのサイドシュート、中央からのロングシュート、速攻が決まりだし、一進一退の展開となった。両チームともディフェンスが今一歩で点の取り合いとなったが、前半終了5分前頃から育英が抜け出して5点の差をつけた。

後半に入り、両チームとも疲れが目立ち、ミスが多かったが、10分を過ぎる頃から育英が速攻でペースをつかみかける。しかし、金沢もGKの好守でよくしのぎ、逆に速攻でじりじりと追い上げたが及ばず、育英が逃げ切った。

〔金沢〕		得
GK	生瀬谷	0
	高畠	0
FP	山形	2
	高	4
	笹浪	1
	松田	4
	中村	0
	永原	1
	南野	4
	荒井	0
	原	0
	大矢	2
	計	18

〔審・小林・土屋〕

〔育英〕		得
GK	水谷	0
	田中	0
FP	守口	0
	北村	4
	松岡	0
	上野	4
	田中	3
	高木	2
	森田	1
	清水	0
	大原	7
	久保	0
	計	21

香川中央（香川）17〔8－5／9－5〕10 明星（東京）

〔戦評〕前半開始から一進一退のゲームが続いたが、香川中央は相手の退場の間に着々と加点し、前半を8－5で折り返した。

後半に入り、明星が連続得点をしてその後シーソーゲームが続いたが、アンダーハンドシュートなど多彩な攻撃を見せた香川中央が着実に加点した。明星も粘り強い反撃を見せたが及ばなかった。

〔明星〕		得
GK	吉岡	0
	川出	0
FP	本多	3
	堀野	0
	萩生田	3
	山崎	1
	二宮	0
	松本	2
	保井	0
	鈴木	1
	永井	0
	田中	0
	計	10

〔審・高田・田村〕

〔香川〕		得
GK	相馬	0
	黒川	0
FP	深谷	0
	増本	5
	大山	4
	久保	0
	原田	2
	入谷	0
	藤沢	0
	平田	6
	西村	0
	岡	0
	計	17

四日市工（三重）27〔14－4／13－5〕9 江津（島根）

〔戦評〕開始直後、江津の先制シュートに始まり、双方とも流れに乗った展開となったが、四日市工が速い攻撃展開と確実なシュートで得点をあげ、前半を14－4で折り返した。

後半に入っても、リズムに乗った四日市工が速攻を中心に加点、また、固いディフェンスとGKの

好守などで江津の攻めを阻み、大差をもって快勝した。

	〔江津〕	得
GK	羽手原	0
	山下	0
FP	多岐	2
	斉藤	0
	宮里	4
	岡本	1
	大賀	2
	藤井	0
	桑原	0
	田中	0
	照喜名	0
	清水	0
		9

〔審・丸谷 奥田〕

	〔四日市〕	得
GK	吉川	0
	浜田	0
FP	中村	0
	坂下	9
	国分	4
	矢田	4
	上村	0
	濱	4
	水野	1
	石田	3
	廣森	1
	桜木	1
		27

興南（沖縄） 23 〔14－2 / 9－7〕 9 境港工（鳥取）

〔戦評〕双方とも固いディフェンスにより得点をあげることができなかったが、前半中ば頃からペースをつかんだ興南が次々とシュートを決め、14－2で前半を折り返した。

後半、境港工も得点を重ねていったが、前半の点差をつめることはできず、着実にシュートを決めた興南が大差で境港工を降した。

	〔境港〕	得
GK	足立	0
	能見	0
FP	松下	0
	古村	1
	青木	1
	荒木	3
	岡島	1
	道田	0
	木下	1
	中橋	2
	藤本	0
	船越	0
		9

〔審・杉本 工藤〕

	〔興南〕	得
GK	伊礼	0
	西原	0
GP	与座	3
	糸数	1
	棚原	0
	田場	2
	名嘉	7
	比嘉	2
	徳松	0
	外間	4
	宮里	3
	外間	1
		23

清水東（静岡） 21 〔10－5 / 11－2〕 7 高知東（高知）

〔戦評〕序盤、清水東がPTにより先制、互いに守備が良く一進一退の展開。なかば頃から互いにポストシュート、サイドシュートが決まりだす。前半残り5分から清水東が相手ミスに乗じて3連続速攻を決めるなどでリードを奪い、10－5で前半を終了。

後半に入り、ペースのつかめない高知東に対し、清水東は速攻などで次々と得点、リードを大きく広げて一方的な展開となった。

	〔高知〕	得
GK	村山	0
FP	江本	1
	安田	4
	小谷	0
	長崎	0
	古谷	1
	徳久	0
	川村	0
	渋谷	1
	渡辺	0
	三木	0
		7

〔審・酒井 国府〕

	〔清水〕	得
GK	橋本	0
	田中	0
FP	藤井	2
	菊地	2
	大多和	3
	田村	2
	海野	6
	久保田	2
	大島	0
	岩崎	1
	堀	3
	猪川	0
		21

北陸（福岡） 18 〔11－4 / 7－5〕 9 市岐阜商（岐阜）

〔戦評〕比較的静かなゲーム展開から、2分、北陸・荒尾がシュートを決めて北陸ペースとなり、得点を加えていった。一方、市岐阜商は北陸の堅いディフェンスをなかなか崩せず、ペースをつかめずに前半を終了。

後半、一進一退の展開であったが、10分過ぎからリズムに乗った北陸がリードを広げ、そのまま逃げ切った。

	〔岐阜〕	得
GK	宮澤	0
	岡崎	0
FP	鈴木	1
	塩谷	1
	平下	1
	加藤	0
	高木	1
	水野	5
	土田	0
	堀	0
	北島	0
	二村	0
		9

〔審・板倉 岩本〕

	〔北陸〕	得
GK	安藤	0
	大原	0
FP	中谷	5
	高橋	0
	坪川	0
	金谷	3
	上野	0
	神吉	1
	荒尾	5
	網千	3
	中根	1
	北川	0
		18

東山（京都） 27 〔11－13 / 16－5〕 18 土浦日大（茨城）

〔戦評〕両チームともディフェンスが良く、セットからの攻撃は点につながらないが、足を使った速攻でお互い得点を重ね、シュート力を持った土浦日大の45度とポストが得点、前半を2点リードで折り返した。

後半、疲れの目立つ土浦日大から東山がボールカットからの速攻で同点に追いつき、以降多彩な攻めと速攻で得点を重ね、逆に5点のリードを奪った。土浦日大は疲れからか反則が目立ち、東山がリードを広げて快勝した。

	〔土漂〕	得
GK	厚地	0
	中津	0
FP	山口	1
	鈴木	6
	小松崎	1
	茅場	3
	堀越	4
	加藤	2
	久保田	0
	久保田	1
	長沢	0
	堀内	0
		18

〔審・松村 中村〕

	〔東山〕	得
GK	宮崎	0
	山田	0
FP	横沢	11
	高橋	0
	森下	2
	下村	4
	藤本	6
	中小路	4
	小林	0
	堀井	0
	伊原	0
	西村	0
		27

市川（千葉） 15 〔8－8 / 7－3〕 11 湯沢（秋田）

〔戦評〕立ち上がりから市川の素早いパス回しと湯沢の速攻で一進一退の展開が続いた。前半終了間際に湯沢が連続得点し、8－8の同点で前半を終えた。後半に入ると、市川が正確なシュートで確実に加点し、次第にリードを広げて15－11で勝利を収めた。

	〔湯沢〕	得
GK	進藤	0
	羽根川	0
FP	斉藤	0
	小松	6
	木村	0
	佐藤	1
	高橋	3
	高橋	1
	佐々木	0
	大友	0
	石垣	1
	米村	0
		11

〔審・後藤 島田〕

	〔市川〕	得
GK	藤牧	0
	百瀬	0
FP	下西	2
	中野	0
	山中	0
	猪野	1
	福田	5
	西谷	3
	珠数	0
	湯本	0
	黒坂	3
	安生	1
		15

神埼（佐賀） 18 〔8－5 / 10－7〕 12 清水商（静岡）

〔戦評〕両チームとも開始直後より速いリズム展開の内にゲームを構成し、清水市商の田代の先制点後、ともに速攻、固いディフェンスの緊迫した試合となった。前半残り5分、清水市商・田代のサイドシュートで1点差に迫るが、神埼はGKの好守などで再びリードを広げ、3点差で前半を折り返す。

後半に入って、神埼・山下、八色、池田と速攻が決まり、徐々に点差を広げた。残り10分を切って清水市商も追い上げたが、18－12の6点差で終了した。

清水商	得		神埼	得
森	0	GK	宗雲	0
李高	0	GK	池田	0
庄村	1	FP	浜野	2
中西	0	FP	百崎	3
愛澤	0	FP	多良	2
酒井	1	FP	八色	4
田藤	0	FP	池田	2
酒井	0	FP	山下	5
田代	9	FP	工藤	0
田代	1	FP	内村	0
櫛引	0	FP	吉村	0
太田	0	FP	増田	0
	12	〔審・奥田 丸谷〕		18

日　川（山梨）21〔9－8　8－9　1－1　3－0〕**18　出　水（鹿児島）**

〔戦評〕開始直後から両チームともシュートを決めるなど激しい試合展開となった。その後一進一退の状態が続いた。この状態は後半も続き、17－17のまま延長戦となった。延長に入ると、すぐ日川が1点を先取したが、残り1分で出水がPTを決め、再度延長戦となった。

この延長戦で日川は続けざまに3点を取り、結局21－18で出水を降した。

出水	得		日川	得
田島	0	GK	守屋	0
野間口	0	GK	石橋	0
桜木	1	FP	石場	2
井町	1	FP	雨宮	1
新枦	0	FP	内田	6
橋口	2	FP	三科	3
城山	1	FP	菊島	2
日置	0	FP	平賀	0
西鶴	0	FP	久保谷	0
大堀	0	FP	奥村	3
佐潟	13	FP	岡	2
浜田	0	FP	関口	1
	18	〔審・細谷 福田〕		21

長崎日大（長崎）26〔10－7　16－4〕**11　北村山（山形）**

〔戦評〕両チームとも厚いディフェンスをとり、最初の5分間無得点であった。長崎日大がロング、速攻で2点を先制すると北村山もカットイン、速攻ですぐに追いつく。スピーディな展開で互角の攻防が続いた。前半終了直前、北村山のミスに乗じて速攻を決めた長崎日大が3点をリードして前半を折り返した。

後半は北村山の攻めが単調となり、長崎日大が次第に速攻などによりペースをつかむ。北村山の1・5ディフェンスに対しサイドシュートが有効で、後半は長崎日大の一方的な展開となった。

北村山	得		長崎	得
今野	0	GK	菅崎	0
伊藤	0	GK	衰田	0
西尾	1	FP	本山	9
押切	4	FP	伊瀬	3
国分	1	FP	本田	1
滝口	1	FP	石丸	1
荻野	2	FP	松永	9
富樫	0	FP	佐藤	1
小野	2	FP	門口	0
遠藤	0	FP	川崎	1
狩野	0	FP	林	0
阿部	0	FP	酒井	1
	11	〔審・松原 中野〕		26

国学院栃木（栃木）16〔9－5　7－5〕**10　岡崎城西（愛知）**

〔戦評〕立ち上がり両チームとも堅さが目立ったが、3分過ぎ国学院栃木が速攻から得点。その後もボールつなぎから得点を重ね6点を連取した。一方、岡崎城西はなかなかペースをつかめず、大事な場面でのミスが目立った。

後半立ち上がり2得点しペースをつかんだかに見えた岡崎城西だが、大事なところで相手に速攻を許してしまい、最後まで力を出し切れなかった感がある。

岡崎	得		国学院	得
江上	0	GK	萩原	0
寺島	0	GK	道本	0
中村	2	FP	阿部	4
森	0	FP	七五三掛	5
山本	1	FP	寺内	0
相木	4	FP	小林	2
原	3	FP	湯田	2
古庄	0	FP	五嶋	0
川合	0	FP	舟橋	0
簗瀬	0	FP	秋山	2
水野	0	FP	小牧	0
坂田	0	FP	山崎	1
	10	〔審・中山 徳前〕		16

多　摩（神奈川）16〔6－7　10－8〕**15　野　洲（滋賀）**

〔戦評〕多摩は速いパスとフェイントで攻めるが、野洲の好守備に攻め切れず苦戦をした。野洲はセットから45度、センター、サイドと得点を重ねるも、多摩もサイドからの浮かしシュートやポストシュートを決め、前半は1点リードで折り返した。

野洲	得		多摩	得
西部	0	GK	守屋	0
田中	0	GK	広川	0
西田	1	FP	阿部	5
北川	6	FP	田村	3
大橋	3	FP	猪口	0
西村	1	FP	増田	1
弘瀬	1	FP	森田	3
小林	2	FP	小松	3
野村	1	FP	桜木	0
北中	0	FP	松山	1
山本	0	FP	川辺	0
徳田	0	FP	品川	0
	15	〔審・秋山 中森〕		16

後半に入って、多摩はすぐにポストシュート、速攻を決め逆転した。10分頃まで多摩は波に乗り、多彩な攻撃で得点を重ね、一方的なゲームになるかに見えたが、野洲も中盤頑張り、せり合いとなったが、多摩が1点差で逃げ切った。

屋　代（長野）20〔9－7　11－5〕**12　今治西（愛媛）**

〔戦評〕両チームともジャンプシュートを使う似たようなチームで、試合開始から1点を争うシーソーゲームとなった。しかし、屋代GKの頑張りもあり、前半は9－7と屋代の2点リードで折り返した。

後半に入り、屋代は速攻を中心にした多彩な攻撃で着々と加点し試合を優勝に進めた。一方、今治西も最後の最後まで攻撃したが、及ばなかった。

今治西	得		屋代	得
重松	0	GK	細川	0
寺尾	0	GK	内山	0
安野	1	FP	宮林	2
正岡	1	FP	足助	7
坂元	0	FP	稲葉	2
田鍋	2	FP	中島	1
越智	1	FP	池田	0
渡辺	0	FP	宮本	0
青野	0	FP	清水	1
片上	0	FP	森本	4
青木	5	FP	宮坂	3
冠	2	FP	中村	0
	12	〔審・清水 内藤〕		20

大分電波（大分）21〔11－3　10－2〕**5　三条工**

〔戦評〕立ち上がりからスピードを生かした攻撃を見せる両チームであったが、大分電波が着実に得点し、三条工がそれを追う展開と

なった。前半残り10分以降、両者ともに固いディフェンスを見せるが、多彩な攻撃によって大分電波が着々と加点、前半を11－3で折り返した。

後半に入って三条工は速攻で追い上げるものの、大分電波GKの好守に阻まれてなかなか得点できず、攻撃とディフェンスメンバーを自在にチェンジする大分電波の圧勝に終わった。

〔三条〕		得
GK	渡辺	0
GK	小林	0
FP	西山	0
FP	石田	0
FP	木原	1
FP	滝沢	0
FP	小柳	3
FP	小川	0
FP	桑原	1
FP	山田	0
FP	坂田	0
FP	丸山	0
		5

審・夏目・松ヶ谷

〔大分〕		得
GK	増田	0
GK	溝辺	0
FP	浜田	3
FP	安部	1
FP	前田	1
FP	工藤	0
FP	野村	8
FP	山本	1
FP	薬師寺	4
FP	桑原	2
FP	井上	1
FP	生野	0
		21

吉井（群馬）25 〔14－7／11－10〕 **17 古川工（宮城）**

〔戦評〕開始直後からシュートを決めた吉井はペースを崩さず、長身を生かしたシュートなど多彩なプレーで確実に点差を広げていった。

後半に入り古川工も追い上げを見せたが、前半の点差をうめることができず、25－17で吉井が古川工を降した。

〔古川工〕		得
GK	藤原	0
GK	榊	0
FP	吉田	7
FP	早坂	2
FP	宍戸	3
FP	佐々木	1
FP	横山	2
FP	栄祝	2
FP	成田	0
FP	遠藤	0
FP	佐藤	0
FP	鈴木	0
		17

審・小口・小山

〔吉井〕		得
GK	小沢	0
GK	井上	0
FP	飯塚	7
FP	加藤	2
FP	田島	7
FP	高橋	1
FP	大河原	5
FP	高橋	2
FP	森田	1
FP	今井	0
FP	茂木	0
FP	加藤	0
		25

2回戦

久工大附（福岡）21 〔10－6／11－5〕 **11 兵庫育英**

〔戦評〕久工大附は固いディフェンスから素早い攻撃を見せ、カットイン、ポストプレーなどで4点を連取した。兵庫育英も速攻、速いボール回しからのカットインなどで対抗し、2点差まで追い上げたが、久工大附GKの好守もあり10－6で前半を終了した。

後半に入り、久工大附のディフェンスがよく動くようになり、兵庫育英もよく攻撃するが攻撃が単調になってしまい、久工大附が速攻を中心に着々と加点し、10点差をつけてゲームが終了した。

〔育英〕		得
GK	水谷	0
GK	田中	0
FP	守口	0
FP	北村	2
FP	上野	3
FP	田中	1
FP	高木	3
FP	森田	1
FP	清水	0
FP	大原	1
FP	中野	0
FP	久保	0
		11

審・小笠原・浜田

〔久留米〕		得
GK	坪根	0
GK	森	0
FP	池辺	0
FP	甲斐田	4
FP	三津	0
FP	植村	1
FP	三谷	3
FP	木村	3
FP	浜川	2
FP	西	1
FP	山口	3
FP	井伊	4
		21

香川中央24 〔10－8／14－7〕 **15 函館有斗（北海道）**

〔戦評〕香川中央のスローオフで始まったこの試合は、立ち上がり速攻、サイド、ポストをうまく使い函館有斗が優位に立つが、シュートミスもあり、波に乗り切れない。また、林、藤巻の両GKが欠場のため、5番の斉藤がゴールを守るなど悪条件が重なり、前半は10－8と香川中央のリードで折り返す。

後半に入り、函館有斗も足を使ってよく守ったが、攻撃のミス、味方の退場などから香川中央に速攻を許し、徐々に点差を広げられてしまった。

〔函館〕		得
GK	斉藤	0
FP	長谷川	0
FP	山崎	0
FP	和泉	1
FP	西川	2
FP	山口	0
FP	浜西	3
FP	篠田	5
FP	石井	0
FP	新妻	1
FP	山田	3
		15

審・酒井・国府

〔香川〕		得
GK	相馬	0
GK	黒川	0
FP	深谷	0
FP	増本	1
FP	大山	5
FP	久保	0
FP	原田	0
FP	入谷	3
FP	藤沢	2
FP	平田	10
FP	西村	1
FP	岡	2
		24

四日市工20 〔8－8／12－8〕 **16 盛岡第一（岩手）**

〔戦評〕前半開始早々、盛岡第一はサイドシュートで先制、しかし四日市工もパスカットからの速攻、ポストシュートで加点、互いに点の取り合いになり、8－8の同点で前半を折り返す。

後半に入って、盛岡第一がサイドシュート、ロングシュートで加点、四日市工もサイドシュート、ポストシュートで応戦、互いに譲らぬ接戦となる。しかし、残り3分から四日市工が坂下のポストシュートや国分の速攻で点差を開き、20－16で辛勝した。

〔盛岡〕		得
GK	石川	0
GK	藤原	0
FP	赤沢	6
FP	斉藤	2
FP	尾形	3
FP	千葉	3
FP	小川	1
FP	松嶋	1
FP	兼平	0
FP	沢田	0
FP	大内	0
FP	山下	0
		16

審・岩本・板倉

〔四日市〕		得
GK	吉川	0
GK	浜田	0
FP	中村	2
FP	坂下	6
FP	国分	5
FP	矢田	2
FP	上村	0
FP	濱	4
FP	水野	1
FP	広森	0
FP	桜木	0
FP	白井	0
		20

此花学院（大阪）23 〔9－8／14－5〕 **13 興南**

〔戦評〕此花の3連続速攻でゲームが動き出し一方的な試合展開かと思われたが、興南も名嘉を中心にセット、速攻で得点を重ね、15分過ぎには同点に追いつき、1点を争うゲームとなり、9－8と此花が1点をリードして前半を終る。

後半1分過ぎ、興南のゲームメーカー名嘉が負傷退場のアクシデントがあり、此花は8連続得点しゲームの流れをつかんだ。しかし興南も名嘉がゲームに戻るとチームも生きかえり、必死に追い上げたが及ばなかった。

〔興南〕		得
GK	伊礼	0
GK	西原	0
FP	与座	3
FP	糸数	1
FP	棚原	1
FP	田場	0
FP	名嘉	2
FP	棚原	0
FP	比嘉	0
FP	外間	3
FP	宮里	3
FP	外間	0
		13

審・滝口・小西

〔此花〕		得
GK	前田	0
GK	吉村	0
FP	沖田	3
FP	清水	5
FP	金澤	2
FP	荒木	1
FP	池原	6
FP	山本	0
FP	松弘	0
FP	小滝	2
FP	木村	4
FP	美濃部	0
		23

浦和学院（埼玉）22 〔13－3／9－6〕 **9 清水東**

〔戦評〕立ち上がり浦和学院・斉藤のポストシュートで先行した。清水東はポストプレーで対抗し、PTを太田が決める。しかし、浦和のディフェンスを攻め切れず、ミスからの速攻を相手に与え、前半を3－13で折り返した。

後半に入り、清水東はディフェンスの粘りから速攻で互角の勝負を展開するが、安定したディフェンスとポストプレーを中心に多彩な攻めで地力に勝る浦和学院が22－9で勝利を収めた。

〔清水東〕		得
GK	橋本	0
GK	田中	0
FP	藤井	2
FP	菊地	0
FP	大多和	1
FP	田村	1
FP	海野	0
FP	久保田	0
FP	大島	1
FP	岩崎	0
FP	堀	4
FP	猪川	0
		9

審・細谷・福田

〔浦和〕		得
GK	諸橋	0
GK	中野	0
FP	山口	2
FP	芹沢	5
FP	原	0
FP	大高	6
FP	斉藤	4
FP	須藤	0
FP	佐藤	5
FP	大邑	0
FP	北川	0
FP	星野	0
		22

北陸36 〔15－2／21－6〕 **8 野辺地（青森）**

〔戦評〕立ち上がり、互いにディフェンスの良さが目立つが、北陸

が中谷のロングシュートを機に荒尾のロングシュートなどで得点を重ねていった。一方野辺地高は、北陸の堅いディフェンスを突破することができず、前半を終ってみると15－2と大差がついていた。

後半に入っても、野辺地はチャンスを北陸GKの好守にシュートを阻まれ、結局36－8で北陸が勝利を収めた。

	北陸	得	野辺地	得
GK	安藤	0	和田	0
	大原	0	山田	0
FP	中谷	2	柳沢	1
	高橋	4	熊谷	0
	坪川	1	熊谷	0
	金谷	3	蛯沢	0
	上野	1	天間	5
	神吉	1	下田	1
	荒尾	21	松山	1
	網干	3	木村	0
	中根	3	松田	0
	北川	1		
		36		8

〔審・清水・内藤〕

東山 23 (9－6 / 14－9) 15 都城泉ヶ丘（宮崎）

〔戦評〕都城泉ヶ丘のスローオフで始まり、両チームともよく動き多彩な攻撃をくり返した。しかし開始10分過ぎにディフェンスの荒さから都城泉ヶ丘は2人が相ついで退場してしまった。東山はその間は攻めあぐんだが、その後徐々に得点を重ね、前半を9－6で終了した。

後半に入ってからはゲームが荒くなり、両チームともパスミス、シュートミスが多くなったが、東山は後半5分過ぎからペースを取り戻し、次々に得点をしていった。都城泉ヶ丘もサイドの速攻などで反撃したが、相変らずシュートミスが多く、8点差で終了した。

	東山	得	都城	得
GK	宮崎	0	川野	0
	山田	0	久保浦	0
FP	横沢	13	福森	0
	高橋	1	塩川	8
	森下	1	鬼塚	3
	下村	1	有村	1
	藤本	3	徳丸	1
	中小路	1	佐藤	1
	小林	2	古川	1
	堀井	1	志戸	0
	伊藤	0	段	0
	西村	0	松下	0
		23		15

〔審・奥田・丸谷〕

市川 18 (10－5 / 8－9) 14 東岡山工（岡山）

〔戦評〕高さとスピードを生かした攻撃の市川、パスワークからポスト、サイドをからめての攻撃の東岡山工。それぞれの持ち味を生かし互角に戦っていたが、市川が前半19分から5連続得点をあげ東岡山工を突き放す。

後半に入り、やや疲れの見え始めた市川に対して東岡山工はよく粘り追い上げたが、市川GKの好守に阻まれ一歩及ばなかった。

	市川	得	東岡山	得
GK	藤牧	0	影山	0
	百瀬	0	吉信	0
FP	下西	4	久保	2
	中野	0	道上	3
	山中	0	松浦	8
	猪野	3	石原	0
	福田	5	本澤	1
	西谷	3	日下	0
	珠数	0	山口	0
	湯本	0	竹中	0
	黒坂	2	藤野	0
	安生	1	小西	0
		18		14

〔審・秋山・中森〕

氷見（富山） 20 (7－5 / 13－4) 9 神崎

〔戦評〕立ち上がり両チームとも堅さがとれず、なかなか点に結びつけることができなかったが、10分過ぎから速いパス回しで互いに加点、氷見が7－5と2点をリードして前半を折り返す。

後半に入り、氷見は地力を発揮し、速攻、ポストシュートで着々と加点、試合を有利に進める。神埼は氷見の堅いディフェンスを崩せず、結局20－9で氷見が完勝した。

	氷見	得	神埼	得
GK	中島	0	宗雲	0
	山下	0	池田	0
FP	久保	1	浜野	2
	太田	5	白崎	1
	柿谷	2	多良	3
	中田	1	八色	0
	滝根	6	池田	2
	広瀬	2	山下	0
	秋山	2	工藤	0
	宇波	0	内村	0
	海下	0	古村	1
	山口	1	増田	0
		20		9

〔審・中野・松原〕

尾道（広島） 22 (11－4 / 11－6) 10 日川

〔戦評〕お互い相手を探り合いながら慎重な試合展開であったが、尾道がペースをつかみ、速攻などを確実に得点に結びつけ、前半を11－4で終る。

後半、日川はまず1点を取り追いすがる尾道の固い守りを破ることができず、尾道のペースで試合が進み、日川は最後まで頑張ったが力及ばなかった。

	尾道	得	日川	得
GK	中村	0	守屋	0
	佐原	0	石橋	0
FP	林	4	石場	3
	西中	2	雨宮	0
	須藤	2	内田	2
	島田	4	三科	3
	縞谷	3	菊島	0
	熊野	7	平賀	0
	片岡	0	久保谷	0
	山本	0	奥村	1
	白岩	0	岡	1
	榊原	0	関口	0
		22		10

〔審・望月・実石〕

長崎日大 26 (11－6 / 15－3) 9 那賀（和歌山）

〔戦評〕立ち上がり、長崎日大は佐藤の速攻などで3点を連取し、主導権を握った。これに対し那賀は上西のポストプレーなどで食い下がるが、長崎日大の左腕エース・松永の好リードとシュートにより前半5点差で終了した。

後半に入り、那賀は神前のロングシュートで反撃を試みるが、相手GK菅野の好守に阻まれ加点できない。これに対し長崎日大は全員がよく走り、確実に加点して26－9の大差で勝利を収めた。

	長崎	得	那賀	得
GK	菅崎	0	山崎	0
	蓑田	0	岸	0
FP	本山	2	加藤	2
	伊瀬	3	上西	3
	本田	1	神前	1
	石丸	1	生熊	1
	松永	7	赤山	2
	佐藤	5	亀井	0
	門口	1	中内	0
	川崎	2	坪野	0
	林	2	竹内	0
	酒井	2	牧浦	0
		26		9

〔審・中村・松村〕

国学院栃木 27 (17−4, 10−8) 12 三好農林(徳島)

〔戦評〕立ち上がり、三好が1点を先取後、国学院スローオフでGK萩原がスローオフシュートを決めるという珍しい場面があった。三好農林はディフェンスに甘さが見られ、セットプレーでも1対1から容易に得点を許した。点差は開いたものの、三好は藤原、原田らのファイトあふれるプレーで最後まで試合を捨てずに頑張った。

	〔国学院〕	得	〔三好〕	得
GK	萩原	1	石川	0
GK	道本	0	岡島	0
FP	阿部	3	太刀野	0
FP	七五三掛	5	原田	1
FP	寺内	0	植喜多	1
FP	小林	7	金久	0
FP	湯田	0	北地	2
FP	五嶋	0	三好	0
FP	竹澤	0	藤原	6
FP	秋山	4	市岡	1
FP	小牧	4	柏木	0
FP	山崎	3	岡田	1
		27		12

〔審・清水 内藤〕

学法石川(福島) 18 (9−5, 9−9) 14 多摩

〔戦評〕前半は両チームとも攻守の切り替えが早いスピードのあるゲーム展開でスタートした。多摩はフェイントからのカットイン、サイドシュートなどでシュートをねらったが、シュートミスが多く一方、学法石川は速攻、ポストプレーなどを確実に決めて加点し、20分を過ぎてから学法石川は3連続ゴールをあげ9−5で前半を終了した。

後半に入り、多摩は阿部、森田のサイドシュートなどで加点し、12分過ぎに同点とした。その後一進一退が続き、16分過ぎに多摩に2人の退場が出て、その間に学法石川が着実に加点し、そのまま18−14で振り切った。

	〔石川〕	得	〔多摩〕	得
GK	荒川	0	守屋	0
GK	郷	0	広川	0
FP	辻	4	阿部	5
FP	斉須	0	田村	1
FP	藤田	9	猪口	2
FP	大河内	3	増田	1
FP	鈴木	0	森田	4
FP	矢吹	1	小松	1
FP	武蔵	0	桜木	0
FP	大塚	0	松山	0
FP	佐久間	1	川辺	0
FP	福地	0	品川	0
		18		14

〔審・後藤 島田〕

熊本市商(熊本) 36 (18−1, 18−6) 7 屋代

〔戦評〕前半、熊本市商は高さ、スピードを生かし、ロングシュート、ポストシュート、パス回しからのカットイン、カットプレーからの速攻と多彩な攻撃を見せた。それに対し、屋代も必死に食い下がるが、熊本市商の攻めに足がついていかず、PTを取られたり、無理な体勢からのパスをカットされ速攻を許すなど歯車のかみ合わないまま前半を終える。

後半に入っても終始熊本市商のペースで行われた。ノーマークシュートのミス、パスミスなどの雑なプレーも多少見られたが、危げのない試合運びで熊本市商が勝利を収めた。

	〔熊本〕	得	〔屋代〕	得
GK	村上	0	細川	0
GK	中村	0	内山	0
FP	岩崎	5	宮林	1
FP	平井	6	足助	4
FP	田中	1	稲葉	0
FP	城戸	1	中島	0
FP	野田	2	池田	0
FP	塩崎	2	宮本	0
FP	馬場	2	清水	0
FP	石橋	2	森本	1
FP	米満	8	宮坂	0
FP	森山	7	中村	1
		36		7

〔審・小林 土屋〕

下松工(山口) 22 (12−3, 10−6) 9 大分電波

〔戦評〕両チームともすばやいパスワークからの得点で競り合いの立ち上がりであったが、前半なかば過ぎから下松工・保科や広政のロングシュート、速攻で加点し、ペースを一方的なものにした。

後半、大分電波も細かいパスを得点に結びつけ粘りを見せたが、下松工のスピードは衰えず、結局22−9で下松工が押し切った。

	〔下松工〕	得	〔大分〕	得
GK	萩原	0	増田	0
GK	森田	0	溝辺	0
FP	広政	6	浜田	2
FP	岡田	5	安部	0
FP	田畑	0	前田	0
FP	元久	4	工藤	0
FP	宮本	0	野村	4
FP	坂根	0	山本	1
FP	辻	0	薬師寺	0
FP	原田	0	桑原	2
FP	保科	4	井上	0
FP	渡部	3	生野	0
		22		9

〔審・田村 高田〕

吉井 22 (13−3, 9−6) 9 正強(奈良)

〔戦評〕吉井・田島のシュートでリズムをつかみ、確実に加点していくのに対し、正強はミスが多い。結局、吉井が13−3と大きくリードして前半を終える。

後半、吉井・田島にマンツーをつけ相手に得点させないようにするが、正強も吉井GKの好守にあい攻め切れず、最後まで吉井ペースの試合で終った。

	〔吉井〕	得	〔正強〕	得
GK	小澤	0	奥田	0
GK	井川	0	藪田	0
FP	飯塚	2	前川	2
FP	加藤	4	吉井	1
FP	田島	7	堀江	2
FP	高橋	1	堤	1
FP	大河原	4	西岡	0
FP	高橋	2	小山	1
FP	森田	1	掛本	2
FP	今井	1	中井	0
FP	茂木	0	中川	0
FP	加藤	0	和田	0
		22		9

〔審・中山 徳前〕

3回戦

久工大附 20 (10−7, 10−3) 10 香川中央

〔戦評〕浜川のペナルティーで先行した久工大附は、多彩な攻撃で一時は9−4とリードしたが、香川中央も大山のステップシュート

	〔久工大〕	得	〔香川〕	得
GK	坪根	0	相馬	0
GK	森	0	黒川	0
FP	池辺	0	深谷	0
FP	甲斐田	1	増本	0
FP	三津	1	大山	4
FP	植村	1	久保	0
FP	三谷	1	原田	0
FP	木村	8	入谷	0
FP	浜川	5	藤沢	6
FP	西	2	平田	0
FP	山口	1	西村	0
FP	井伊	0	岡	0
		20		10

〔審・滝口 小西〕

などで反撃、前半は10−7と久工大附の3点リードで終った。
後半の立ち上がり、木村のサイドシュートなどでリードを広げた久工大附が最後まで攻撃の手をゆるめず、粘る香川中央を20−10で破りベスト8に勝ち進んだ。

浦和学院 25（13−6, 12−6）12 此花学院

〔戦評〕立ち上がり此花学院がペナルティーを決め先行するが、浦和学院は安定したディフェンスからの速攻などで3連続得点でリズムに乗る。浦和学院は優れた個人技を生かしたずらしやポストプレーで此花学院につけ入るすきを与えず前半を13−6で終了した。
後半に入り、此花学院は浦和のキャプテン山口に対しマンツーマンディフェンスに出てリズムを崩そうとするが、ポスト、サイド、ロングとバランスよく加点され、点差を縮めることができなかった。

	〔此花〕	得
GK	前田	0
GK	吉村	0
FP	沖田	2
FP	清水	1
FP	金澤	2
FP	荒木	1
FP	池原	6
FP	山本	0
FP	松弘	0
FP	小滝	0
FP	木村	0
FP	美濃部	0
		12

〔審・島田 後藤〕

	得	〔浦和〕
GK	0	諸橋
GK	0	中野
FP	7	山口
FP	4	芹沢
FP	4	大高
FP	2	斉藤
FP	3	須藤
FP	3	佐藤
FP	1	大邑
FP	0	北川
FP	0	小山
FP	1	星野
	25	

四日市工 21（11−7, 10−11）18 東山

〔戦評〕東山・横沢のロングシュートなどで先行するが、四日市工が追いつき、一進一退の展開となる。17分過ぎから四日市工は東山のミスに乗じての速攻などで4点を連取、11−7として前半を終る。
後半、両チームの激しい攻め合いが続く。四日市工・中村、坂下、東山・横沢、森下らがシュートを応しゅう、一進一退の展開で、四日市工が逃げ切った。

	〔東山〕	得
GK	宮崎	0
GK	山田	0
FP	横沢	9
FP	高橋	1
FP	森下	4
FP	下村	0
FP	藤本	3
FP	中小路	1
FP	小林	0
FP	堀井	0
FP	伊原	0
FP	西村	0
		18

〔審・工藤 杉本〕

	得	〔四日市〕
GK	0	吉川
GK	0	浜田
FP	4	中村
FP	6	坂下
FP	3	国分
FP	5	矢田
FP	0	上村
FP	3	濱
FP	0	水野
FP	0	広森
FP	0	桜木
FP	0	白井
	21	

尾道 17（8−5, 9−8）13 北陸

〔戦評〕立ち上がり、北陸は尾道の固いディフェンスに攻めあぐむ。北陸は尾道の林、熊野の2人をマークし、4−4で攻防を挑むが、尾道のセンター1対1からのプレーで点差をつけられ、8−5で前半を折り返す。
後半も同様の展開で、一時は尾道が12−6と大きくリードを奪う。しかし、北陸も懸命に粘りを見せ追い上げたが及ばず、17−13で四日市工が勝利を収めた。

	〔北陸〕	得
GK	安藤	0
GK	大原	0
FP	中谷	6
FP	高橋	1
FP	坪川	0
FP	金谷	0
FP	上野	0
FP	神吉	1
FP	荒尾	3
FP	網干	1
FP	中根	0
FP	北川	1
		13

〔審・内藤 清水〕

	得	〔尾道〕
GK	0	中村
GK	0	佐原
FP	1	林
FP	4	西中
FP	1	須藤
FP	8	島田
FP	0	縞谷
FP	3	熊野
FP	0	片岡
FP	0	山本
FP	0	白岩
FP	0	林
	17	

氷見 16（7−2, 9−9）11 市川

〔戦評〕まず氷見が久保のシュートで先制、市川も西谷のシュートで追いつき、動きの速い攻防が続く。しかし、氷見は数少ないチャンスを確実に得点に結びつけていくのに対し市川は氷見のディフェンス、GKの好守に得点が伸びず前半7−2と氷見のリードで終る。
後半、氷見は瀧根のパスカットで得点、しかし市川も福岡のカットインシュートでリズムに乗り、1点ずつ得点し合うゲーム展開となるが、前半の失点を取り戻すまでには至らず、接戦ながら氷見が前半のリードを守り切った。

	〔市川〕	得
GK	藤牧	0
GK	百瀬	0
FP	下西	4
FP	中野	0
FP	山中	0
FP	猪野	1
FP	黒板	1
FP	福田	3
FP	西谷	2
FP	珠数	0
FP	湯本	0
FP	安生	0
		11

〔審・岩本 板倉〕

	得	〔氷見〕
GK	0	中島
GK	0	山下
FP	4	久保
FP	1	太田
FP	5	柿谷
FP	1	中田
FP	3	滝根
FP	2	広瀬
FP	0	秋山
FP	0	穴田
FP	0	海下
FP	0	久保
	16	

長崎日大 21（10−9, 11−8）17 国学院栃木

〔戦評〕長崎日大が立ち上がり3連続得点をあげてペースをつかんだかに見えたが、15分過ぎに国学院栃木に同点に追いつかれる。その後はお互いに点を取り合い、前半は10−9と長崎日大のリードで終る。
後半に入っても1点を争う好ゲームとなったが、結局地力に勝る長崎日大が21−17で国学院栃木を破った。

	〔国学院〕	得
GK	萩原	0
GK	道本	0
FP	阿部	5
FP	七五三掛	1
FP	寺内	0
FP	小林	1
FP	湯田	0
FP	福田	0
FP	舟橋	0
FP	秋山	6
FP	小牧	0
FP	山崎	4
		17

〔審・中野 松原〕

	得	〔長崎〕
GK	0	菅崎
GK	0	蓑田
FP	3	本山
FP	0	伊瀬
FP	3	本田
FP	1	石丸
FP	7	松永
FP	2	佐藤
FP	1	門口
FP	2	川崎
FP	2	林
FP	0	酒井
	21	

熊本市商 21（14−3, 7−12）15 学法石川

〔戦評〕立ち上がり、パスカットからの速攻を2本連続で決め、熊本市商が先取点をとる。その後も速攻や米満のロングシュート、森山のカットインなどで得点を重ね前半を14−3と学法石川を離して終了。
後半に入り、学法石川は矢吹、辻のロングシュートやスカイプレーなどで反撃を開始。一方、熊本市商は前半の堅いディフェンスが

崩れ、速攻が出せず5点差までつめられる。そこからは一進一退をくり返すが、結局21－15で熊本市商が学法石川を降した。

〔石川〕		得
GK	荒川	0
GK	郷	0
FP	辻	2
FP	斉須	0
FP	藤田	5
FP	大河内	2
FP	鈴木	0
FP	矢吹	3
FP	武蔵	0
FP	大塚	0
FP	佐久間	2
FP	福地	1
		15

〔審・国府　酒井〕

〔熊本商〕		得
GK	村上	0
GK	中村	0
FP	岩崎	8
FP	平井	3
FP	田中	2
FP	城戸	0
FP	野田	0
FP	塩崎	0
FP	馬場	0
FP	石橋	0
FP	米満	1
FP	森山	7
		21

下松工 20（10－9、10－6）**15 吉井**

〔戦評〕下松工は広政をマークされながらも残り5人でうまくボールを回しながら確実に得点に結びつける。吉井は田島のシュート力を生かしゲームメークしていく。前半は両チームともそれぞれの良さを出し互角にわたり合うが、後半に入り吉井にミスが目立つようになる。立ち上がり2本のペナルティーをはずしてからは攻めにリズムがなくなり、下松工が徐々にリードを広げていく。吉井も最後必死に食い下がるが、力及ばず20－15で下松工が勝利を収める。

〔吉井〕		得
GK	小沢	0
GK	井川	0
FP	飯塚	3
FP	加藤	4
FP	田島	4
FP	高橋	0
FP	大河原	3
FP	高橋	1
FP	森田	0
FP	今井	0
FP	茂木	0
FP	加藤	0
		15

〔審・小口　小山〕

〔下松工〕		得
GK	萩原	0
GK	森田	0
FP	広政	8
FP	岡田	0
FP	田畑	0
FP	元久	2
FP	宮本	0
FP	坂根	4
FP	辻	0
FP	原田	0
FP	保科	4
FP	渡部	2
		20

4回戦

久工大附 27（11－5、16－3）**8 四日市工**

〔戦評〕立ち上がり2分、久工大附は浜川のロングシュートで先行した。これに対し、四日市工は3分、キャプテン坂下の速攻で同点とし、ローリング攻撃からのポストプレーでPTをとり反撃したが、久工大附の高いディフェンスを崩すことができず、10分～20分に速攻などで7点を連取され、5－11で前半を終了した。

後半に入っても、久工大附は着実なディフェンスからの速攻などで速攻、ポストプレーなどで着々と加点した。四日市工は矢田のステップシュートで反撃するが、久工大附の高さのプレッシャーを破ることができずに敗れた。

〔四日市〕		得
GK	吉川	0
GK	浜田	0
FP	中村	0
FP	坂下	1
FP	国分	3
FP	矢田	2
FP	濱	1
FP	水野	0
FP	石田	0
FP	広森	0
FP	桜木	1
FP	白井	0
		8

〔審・内藤　清水〕

〔久工大〕		得
GK	坪根	0
GK	森	0
FP	池辺	1
FP	甲斐田	4
FP	三津	3
FP	植村	0
FP	三谷	1
FP	木村	4
FP	浜川	7
FP	西	2
FP	山口	2
FP	井伊	3
		27

浦和学院 30（12－11、18－6）**17 尾道**

〔戦評〕開始早々、尾道・熊野のシュートで先制するも、浦和学院が斉藤のロングと堅い守りからの速攻ですぐに反撃。ゲームは高さとスピードのある浦和学院のペースで展開され5－1となったが、8分30秒に林のステップシュートから尾道も攻撃にリズムが出はじめ、4連続得点で5－5の同点に追いつく。その後は両チームとも持ち味を生かし、全く互角の展開で前半は浦和学院が12－11と1点リードで終了する。後半は、浦和学院が次々に点差を広げていき、必死に食い下がる尾道を振り切り大差をつけて勝利した。

〔尾道〕		得
GK	中村	0
GK	佐原	0
FP	林	5
FP	西中	1
FP	須藤	0
FP	島田	7
FP	縞谷	1
FP	熊野	3
FP	片岡	0
FP	山本	0
FP	白岩	0
FP	林	0
		17

〔審・島田　山口〕

〔浦和〕		得
GK	諸橋	0
GK	中野	0
FP	山口	10
FP	芹沢	7
FP	大高	3
FP	斉藤	2
FP	須藤	5
FP	佐藤	3
FP	大邑	0
FP	北川	0
FP	小山	0
FP	星野	0
		30

熊本市商 19（10－3、9－5）**8 氷見**

〔戦評〕立ち上がりから熊本市商がボールをよく回し、米満のロング、森山の速攻、カットインで次々とゴールを破り、試合を優位に進めた。GK村上も2本のPTを止めるなど活躍が目立った。氷見も柿谷のロングを中心にサイドからの回りなど相手ディフェンスを崩しにかかるが、シュートまで持ち込めず、攻めあぐんでいた。前半は10－3と熊本市商のペースのまま折り返した。

後半に入って点差をつめたい氷見が5分過ぎまでは互角の戦いを見せるが、それ以後18分までは熊本市商が速攻やポストプレーなどの多彩な攻めで食い下がる氷見を引き離した。

〔氷見〕		得
GK	中島	0
GK	山下	0
FP	久保	1
FP	太田	0
FP	柿谷	3
FP	中田	3
FP	滝根	0
FP	広瀬	1
FP	秋山	0
FP	宇波	0
FP	海下	0
FP	山口	0
		8

〔審・土屋　小林〕

〔熊本商〕		得
GK	村上	0
GK	中村	0
FP	岩崎	4
FP	平井	1
FP	田中	3
FP	城戸	0
FP	野田	0
FP	塩崎	2
FP	馬場	1
FP	米満	3
FP	水上	1
FP	森山	4
		19

下松工 23（13－5、10－7）**12 長崎日大**

〔戦評〕立ち上がりディフェンスからの速攻で下松工が先制、長崎日大も松永、門口のロングシュートで応戦するが、下松工の堅いディフェンスとGK萩原の好守に得点を重ねることができず、前半は13－5と下松工が大きくリードを奪う。後半に入るとお互いにディフェンスの動きが良くなり一進一退の展開となり、結局前半リードした下松工が23－12で長崎日大を降した。

〔長崎〕		得
GK	菅崎	0
GK	蓑田	0
FP	本山	2
FP	本田	2
FP	石丸	2
FP	松永	1
FP	佐藤	3
FP	門口	2
FP	川崎	0
FP	林	0
FP	酒井	0
FP	野口	0
		12

〔審・島田　後藤〕

〔下松工〕		得
GK	荻原	0
GK	森田	0
FP	広政	6
FP	岡田	5
FP	田畑	0
FP	元久	3
FP	宮本	0
FP	坂根	3
FP	辻	0
FP	原田	2
FP	保科	2
FP	渡部	2
		23

準決勝

熊本市商 17（10－9、7－5）**14 久工大附**

〔戦評〕熊本市商・平井の速攻でゲームを動きだし、熊本は素早いボール回しから森山のスカイプレーなどで得点を重ね、10分過ぎまでに6－1とリードした。一方、久工大附はシュートがゴールポストに当たるなど不運もあったが動きがやや固くなかなか得点できず苦しいゲーム展開となった。しかし、久工大附も15分過ぎから本来の動きに戻り、三谷のカットインシュートなどで追い上げ、前半を1点差で終了する。

後半に入り、熊本市商は田中、米満のミドルシュートで3点差としたが、久工大附も木村のポストシュートなどで追い上げ、10分過ぎに12－12の同点とした。しかし熊本市商は森山の速攻などで再び突き放し、GK村上の好守などで粘る久工大附を振り切った。

〔久工大〕		得
GK	坪根	0
GK	森	0
FP	池辺	0
FP	甲斐田	3
FP	三津	0
FP	植村	0
FP	三谷	5
FP	木村	1
FP	浜川	1
FP	西	2
FP	山口	0
FP	井伊	2
		14

〔審・島田 後藤〕

〔熊本商〕		得
GK	村上	0
GK	中村	0
FP	岩崎	1
FP	平井	3
FP	田中	2
FP	城戸	0
FP	野田	0
FP	塩崎	0
FP	馬場	0
FP	石橋	0
FP	米満	4
FP	森山	7
		17

浦和学院 26 〔9－11 11－9 3－2 3－3〕 25 下松工

〔戦評〕立ち上がりミスの多い浦和学院に対し、下松工は元久のポストシュートで先制し、3連続得点をあげた。10分過ぎから浦和も落ち着きを取り戻し、多彩な攻撃で一時は同点に追いついたが、結局前半は11－9で下松工リードで終了した。

後半立ち上がりに1点差とした浦和は、4分に同点とし、以後は1点を争うゲームとなった。両者がっぷり組んだまま譲らず、20－20で延長に入った。

延長に入り、浦和学院が3連続得点をあげ試合を決めたかに見えたが、下松工も最後まで粘りを見せる。浦和・山口のPTで最後勝敗が決した。

〔下松工〕		得
GK	荻原	0
GK	森田	0
FP	広政	7
FP	岡田	5
FP	田畑	0
FP	元久	4
FP	宮本	0
FP	坂根	6
FP	辻	0
FP	原田	0
FP	保科	1
FP	渡辺	2
		25

〔審・小笠原 浜田〕

〔浦和〕		得
GK	諸橋	0
GK	中野	0
FP	山口	11
FP	芹沢	2
FP	大高	3
FP	斉藤	3
FP	須藤	2
FP	佐藤	5
FP	大邑	0
FP	北川	0
FP	小山	0
FP	星野	0
		26



熊本市商・森山のシュート

決勝

熊本市商 19 〔9－11 10－7〕 18 浦和学院

〔戦評〕熊本市商のスローオフで始まり、両チームとも素早いボール回しから多彩な攻撃をしかけた。浦和は大高、須藤の速攻などでリズムをつかみ、序盤をリードした。一方、熊本市商も森山を軸に反撃を見せるが、浦和の動きの速いディフェンスをなかなか崩すことができず苦しい展開となった。しかし、熊本は浦和のやや荒くなったディフェンスのすきをつき、岩崎のポストシュートなどで反撃をし、前半を2点差で折り返した。

後半に入り、浦和は斉藤のポストシュート、熊本は森山の速攻などで一進一退の展開が続き、17分過ぎに熊本が同点に追いついた。その後互いに激しい攻防を見せたが、終了3秒前に熊本・岩崎の劇的なシュートが決まり、19－18で浦和を振り切って優勝を決めた。

〔浦和〕		得
GK	諸橋	0
GK	中野	0
FP	山口	4
FP	芹沢	6
FP	大高	1
FP	斉藤	2
FP	須藤	3
FP	佐藤	2
FP	大邑	0
FP	北川	0
FP	小山	0
FP	星野	0
		18

〔審・島田 後藤〕

〔熊本商〕		得
GK	村上	0
GK	中村	0
FP	岩崎	2
FP	平井	1
FP	田中	3
FP	城戸	0
FP	野田	0
FP	塩崎	0
FP	馬場	1
FP	石橋	0
FP	米満	5
FP	森山	7
		19

女子

1回戦

西大寺（岡山）14 〔6－7 8－6〕 13 大曲農（秋田）

〔戦評〕開始早々大曲農が中央からのシュートで先制、その後一進一退の攻防が続き10分に西大寺が3－3の同点とする。お互いにミスが目立つ展開で、大曲農が1点をリードして前半を終える。

後半、双方のGKの好守に阻まれなかなか決まらなかったが、大曲農がパスカットによる攻撃でリードした。しかし、粘る西大寺が終了5分前に同点に追いつき、ロングパスからのシュートで逆転、大曲農を振り切って勝利を収めた。

〔大曲農〕		得
GK	伊藤	0
GK	高橋	0
FP	武藤	0
FP	阿部	6
FP	畠山	2
FP	田畑	1
FP	高橋	2
FP	佐原	0
FP	佐藤	0
FP	福田	2
FP	鈴木	0
		13

〔審・福田 細谷〕

〔西大寺〕		得
GK	三宅	0
GK	渡会	0
FP	山本	1
FP	平川	2
FP	川部	2
FP	岡	6
FP	村上	1
FP	三村	0
FP	向井	2
FP	花房	0
FP	粟井	0
FP	鈴木	0
		14

添上（奈良）15 〔8－4 3－7 2－2 2－2〕 15 浦和実（埼玉）
3 PTC 2

〔戦評〕前半立ち上がり、浦和はセットから添上は速攻から得点をねらうが、双方ともシュートミス、パスミスなどで得点に結びつかない。前半14分、浦和が右45度からポストにつなぎ4－3と1点リード。18分、スピードあるパスワークから添上・杉原のロングで6－4と添上が2点リード。その後もスピードで勝る添上が速攻で加点し、8－4で前半を終了。

後半に入り、ディフェンスを固めた浦和は攻守に動きが良くなり、ロング、ポスト、速攻などで反撃し、24分には11－11の同点として延長に入る。延長に入っても互いに一歩も譲らず、15－15で終了、PTCで決着がついた。

〔浦和実〕		得
GK	帰山	0
GK	伊藤	0
FP	藤原	3
FP	竹花	8
FP	横山	0
FP	斉藤	2
FP	平澤	0
FP	夏目	0
FP	中村	0
FP	増田	0
FP	正田	1
FP	瀬戸	1
		15

〔審・松原 中野〕

〔添上〕		得
GK	福本	0
GK	松井	0
FP	杉原	11
FP	井口	1
FP	岡田	0
FP	上野	1
FP	河野	0
FP	厚地	2
FP	坂本	0
FP	中尾	0
FP	西本	0
FP	飯田	0
		15

熊本女商（熊本）18 〔10－6 8－5〕 11 洛北（京都）

〔戦評〕試合開始後一進一退の好ゲームを展開したが、20分、洛北に退場者が出たのをきっかけに熊

本女商がペースをつかみ、前半を10−6とリードした。
後半も熊本女商のペースで進み、最後まで粘る洛北を18−11で振り切った。

	〔洛北〕	得	〔熊女商〕	得
GK	川村	0	木村	0
GK	北山	0	橘	0
FP	岩崎	1	末金	1
FP	大澤	4	村上	1
FP	平井	0	森下	9
FP	辻	5	竹内	3
FP	西脇	0	長嶺	0
FP	硲	0	松村	4
FP	松田	0	東	0
FP	三上	0	立川	0
FP	橋本	1	寺本	0
FP	田中	0	木村	0
		11		18

〔審・中山 徳前〕

北村山（山形）10〔4−3、6−6〕9 **神埼農**（佐賀）

〔戦評〕開始後の攻防はお互い激しいものがあったが、北村山はシュートを着実に得点につなげ、PTなどで追う神埼農に1点リードして前半を折り返す。
後半に入っても一進一退の展開が続き、神埼農が追いつき北村山が引き離すという形で試合が進み、結局1点差で北村山が逃げ切った。

	〔神埼農〕	得	〔北村山〕	得
GK	香川	0	折原	0
GK	金丸	0	遠藤	0
FP	森園	0	石井	2
FP	高木	4	戸村	0
FP	垣副	1	青木	0
FP	武藤	0	芳賀	0
FP	山口	1	高橋	1
FP	大坪	0	斉藤	0
FP	副島	0	佐藤	1
FP	中原	3	細谷	2
FP	松尾	0	川越	2
FP			阿部	2
		9		10

〔審・秋山 中森〕

夙川学院（兵庫）16〔5−2、11−5〕7 **福井商**（福井）

〔戦評〕前半、両チーム激しい打ち合いで始まり、夙川・大井のロングシュートで先行、その後両チーム堅い守りを崩すことができず10分で1−0。その後、夙川・中尾のカットイン、福井商・宮本のロングシュートが枠に入らず、5−2と夙川のリードで前半終了。
後半、福井商が得点すればすかさず夙川が返すという展開で、夙川のスピードとディフェンス力が一枚上であった。

	〔福井商〕	得	〔夙川〕	得
GK	村上	0	伊吹	0
GK	沖園	0	中井	0
FP	山崎	1	藤原	1
FP	町崎	0	大井	3
FP	斉藤	0	小山	0
FP	出口	2	財田	2
FP	宮本	3	碇	2
FP	小林	0	中尾	4
FP	長谷川	1	柏木	0
FP	山崎	0	市岡	1
FP	宇野	0	小杉	2
FP	川合	0	松本	1
		7		16

〔審・小西 滝口〕

静岡城北（静岡）18〔9−5、9−7〕12 **聖和女**（長崎）

〔戦評〕序盤、静岡城北が2点を連取しペースに乗るかに見えたが、聖和女も速攻などで盛り返す。その後、両チームとも決定的なシュートが打てずにいたが、PTをきっかけに速攻などで静岡城北がじわじわと加点し、4点をリードして前半を折り返した。
後半は、聖和女が一時1点差まで追い上げ、激しいゲーム展開となったが、走力のある静岡城北が速攻で加点し、勝利を収めた。

	〔聖和女〕	得	〔静岡〕	得
GK	鮎川	0	瀧下	0
GK	市原	0	近藤	0
FP	田鹿	3	新井	3
FP	松下	2	海野	4
FP	松尾	3	加納	0
FP	篠原	2	萱津	4
FP	野元	1	岩石	6
FP	山口	0	青山	0
FP	野道	1	鈴木	1
FP	小柳	0	長島	0
FP	折原	0	大畑	0
FP	大石	0	鈴木	0
		12		18

〔審・小西 滝口〕

山梨（山梨）18〔7−5、11−3〕8 **新潟江南**（新潟）

〔戦評〕比較的静かなゲーム展開で双方互角の点の取り合いが続き、7−5と山梨が2点をリードして前半を折り返した。
後半に入って、山梨が3点を連取。その後新潟江南も反撃を見せるが、山梨が着々と得点を重ね、リードを広げて快勝した。

	〔江南〕	得	〔山梨〕	得
GK	加賀田	0	中村	0
GK	野沢	0	平山	0
FP	倉井	0	深澤	6
FP	金井	0	平塚	2
FP	木村	0	松土	1
FP	長谷川	7	望月	5
FP	永井	0	田口	0
FP	伊佐	0	佐藤	1
FP	小髪	0	宿沢	1
FP	関	1	矢崎	0
FP	川崎	0	武川	2
FP	土田	0	小池	0
		8		18

〔審・小口 小山〕

水海道二（茨城）27〔15−3、12−1〕4 **徳島城北**（徳島）

〔戦評〕前半立ち上がり両チームとも堅さが見られ、ミスが目立ったが、水海道がスピードを生かした速攻で抜け出し点差を広げていく。徳島城北も右からずらし、ロングで応戦するが、パスミス、シュートミスなどをすべて水海道に速攻につなげられ、3−15と大差をつけられて前半を終る。
後半に入っても水海道の勢いは衰えず、なだれ込むような速攻、きれの良いロングなどで着々と加点し、27−4と一方的なスコアーで圧勝した。

	〔徳島〕	得	〔水海道〕	得
GK	田村	0	鈴木	0
GK	辻岡	0	軽部	0
FP	野田	0	高橋	8
FP	祁答院	0	芦谷	4
FP	大浦	0	ヶ森	2
FP	武田	1	小谷内	2
FP	阿部	1	鈴木	2
FP	坂東	1	若林	3
FP	塚本	0	染谷	4
FP	藤本	1	日高	1
FP	多田	0	野口	0
FP	岡本	0	大村	1
		4		27

〔審・小笠原 浜田〕

盛岡二（岩手）16〔5−3、11−4〕7 **松江市女**（島根）

〔戦評〕両チームともに立ち上がりから緊張のためか簡単なミスが

	〔松江〕	得	〔盛岡二〕	得
GK	竹内	0	佐藤	0
GK	石田	0	杉田	0
FP	釜屋	1	及川	0
FP	藤本	1	佐藤	1
FP	大河原	3	山崎	1
FP	吉岡	0	阿部	0
FP	竹谷	0	畠山	1
FP	渡部	2	丹羽	3
FP	塩野	0	千葉	0
FP	梅木	0	菊池	5
FP	曽我	0	古川	3
FP	椿	0	板谷	2
		7		16

〔審・夏目 松ヶ谷〕

目立ち、ペースに乗り切れないでいたが、それでもスピードに勝る盛岡二が5−3で前半を折り返した。後半に入り、盛岡二の堅いディフェンスからの速攻が冴え、着着と加点して16−7で勝利を収めた。

栃木商（栃木）16〔9−2 7−4〕6 **彦根商**（滋賀）

〔戦評〕開始直後は堅さが見られたが、両チームとも徐々に動きが良くなり、一進一退の攻防が続いた。15分を過ぎると栃木商の攻めに彦根商は防戦にまわり点差が開き始めた。

後半に入り、早々に1点を返した彦根商だが、栃木商の攻めが鋭く点差が開いていった。終了3分前になってやっと彦根商の攻めに力強さが出てきたが、反撃が間に合わなかった。

	〔彦根商〕	得
GK	片山	0
GK	前川	0
FP	冨江	0
FP	田中	3
FP	吉川	2
FP	八代	0
FP	小菅	1
FP	辻	0
FP	尾本	0
FP	福川	0
FP	浅井	0
FP	木村	0
		6

〔審・小林 土屋〕

	〔栃木商〕	得
GK	福田	0
GK	青木	0
FP	直井	1
FP	伊佐野	2
FP	岡本	2
FP	麦倉	3
FP	小林	1
FP	伊沢	2
FP	高瀬	2
FP	入江	0
FP	小栗	3
FP	安本	0
		16

聖和学園（宮城）18〔10−6 8−6〕12 **高知東**（高知）

〔戦評〕前半、聖和はリズムに乗れず、高知東のコンビプレーに失点が多い。しかし、速攻などで得点し、10−6と4点をリードして前半を折り返す。

後半に入り、両チームとも前半と同様な試合運びで、なかなかリズムに乗れない聖和だが、18−12で高知東を振り切り勝利を収めた。

	〔高知東〕	得
GK	長岡	0
GK	松下	0
FP	岩本	4
FP	井上	2
FP	小橋	2
FP	山本	2
FP	竹島	0
FP	西川	0
FP	高橋	0
FP	原	0
FP	古田	0
FP	伊藤	0
		12

〔審・田村 高田〕

	〔聖和〕	得
GK	今内	0
GK	佐藤	0
FP	沼倉	1
FP	石垣	1
FP	結城	4
FP	佐藤	5
FP	村上	0
FP	宍戸	1
FP	千代窪	4
FP	菱沼	0
FP	高橋	1
FP	佐藤	1
		18

昭和学院（千葉）12〔5−3 7−2〕5 **暁**（三重）

〔戦評〕両チームともにディフェンスのチェックが厳しく、前半は1点を争う攻防となる。後半に入っても決定的なシュートが打てず、一進一退の厳しい攻め合いが続いたが、残り10分あたりから地力に勝る昭和学院が連続加点し、追いすがる暁を突き放した。

	〔暁〕	得
GK	内田	0
GK	栗栖	0
FP	松田	0
FP	中川	3
FP	橋爪	0
FP	水谷	0
FP	鈴木	0
FP	喜楽	0
FP	野呂	0
FP	岡	1
FP	石原	0
FP	野田	1
		5

〔審・滝口 小西〕

	〔昭和〕	得
GK	林	0
GK	佐藤	0
FP	嶋本	3
FP	袴田	0
FP	星	4
FP	小谷	0
FP	豊嶋	0
FP	大野	0
FP	細井	0
FP	梅澤	0
FP	阿部	3
FP	増田	2
		12

山陽女（広島）12〔8−3 4−7〕10 **藤村女**（東京）

〔戦評〕激しい攻め合いの中で山陽女が先制、その後も着実に得点を重ね10分で4点をあげた。藤村女も山陽女GKの好守に苦しみながらも何とか中央突破から得点するが、山陽女が8−3とリードして折り返した。

後半に入り互いに点を取り合い一進一退をくり返したが、前半の優勝を保った山陽女が藤村女を振り切って勝利を収めた。

	〔藤村女〕	得
GK	星野	0
GK	出葉	0
FP	宇田川	1
FP	佐藤	1
FP	成田	1
FP	松本	2
FP	垣野	1
FP	丸田	1
FP	根城	3
FP	古田	0
FP	高山	0
FP	阿部	0
		10

〔審・杉本 工藤〕

	〔山陽女〕	得
GK	鷲見	0
GK	藤間	0
FP	王野	5
FP	村実	2
FP	曽我	0
FP	田中	2
FP	岩槻	0
FP	玉木	3
FP	飯田	0
FP	山根	0
FP	青戸	0
FP	三宅	0
		12

宣真（大阪）25〔14−3 11−5〕8 **国分実**（鹿児島）

〔戦評〕高く、足がよく動く宣真のディフェンスに国分実は決め手がなく、パッシブプレーや無理なシュートが続き、これを宣真が速攻につなげて加点し、14−3の大差で前半を終了。

後半に入っても、高さ、スピード、パワーなどあらゆる面で勝っている宣真の攻勢は衰えず、速攻、ミドル、ポストなどで着々と加点していく。国分実もずらし攻撃からポストへつなぐなど必死に反撃するが、最後の決定力がなく、大差で宣真が勝利を収めた。

	〔国分実〕	得
GK	大井	0
GK	久木山	0
FP	折尾	4
FP	桑原	0
FP	立和田	0
FP	本村	0
FP	崎山	0
FP	西村	1
FP	重山	0
FP	吉留	0
FP	吉田	3
FP	肥後	0
		8

〔審・国府 酒井〕

	〔宣真〕	得
GK	進藤	0
GK	山下	0
FP	稲次	7
FP	野村	1
FP	荒川	3
FP	関	5
FP	小野	2
FP	中里	4
FP	大舘	1
FP	入江	1
FP	奥山	1
FP	菅津	0
		25

郡山女（福島）17〔8−5 9−4〕9 **小杉**（富山）

〔戦評〕1点を争う好ゲームとなったこの試合、前半終了間際に郡山女が得点を重ね8−5とリードした。後半も郡山女のペースで進み、小杉もよく頑張ったが結局17−9で郡山女が勝利を収めた。

〔小杉〕得
GK 広 長 ／ FP 鶴 新 光 川 宮 市 石 梶 辰
瀬 谷 村 地 腰 脇 橋 田 谷 口
0 0 3 1 0 1 0 0 0 4
9

〔審・板倉 岩本〕

	〔郡山女〕	得
GK	安田	0
GK	吉田	0
FP	斉藤	0
FP	今野	5
FP	三本木	0
FP	横田	2
FP	千葉	3
FP	伊藤	1
FP	高田	2
FP	志賀	3
FP	山本	0
FP	鈴木	1
		17

釧路湖陵（北海道）14〔8−6 6−6〕12 **境**（鳥取）

〔戦評〕比較的静かなゲーム展開で、先にペースをつかんだ釧路湖陵が着々と加点していった。一方

境も徐々に追い上げ15分過ぎから点差をつめていき、8—6で前半を折り返した。
後半立ち上がりは再度釧路湖陵のペースだったが、中頃から境が追い上げ、一時は1点差とした。しかし、最後は釧路湖陵が辛うじて2点差で逃げ切った。

	〔境〕	得
GK	松本	0
	山口	0
FP	根平	0
	阿部	1
	堀田	0
	植田	7
	寺島	0
	本城	0
	大田	0
	木村	4
	後藤	0
	阿部	0
		12

審・松村、中村

	〔湖陵〕	得
GK	平塚	0
	梶沢	0
FP	遠藤	3
	相原	2
	佐々木	4
	谷川	3
	中村	1
	吉田	1
	藤田	0
	橋本	0
	田中	0
	永塚	0
		14

2回戦

名短付（愛知）21 〔12—7 9—3〕 10 西大寺（岡山）

〔戦評〕開始1分30秒、西大寺は速攻からPTを得て決め、3分に速攻、4分30秒にはセットからのポストシュートで3—0とリードした。名短付もPT、速攻などで同点に追いつき、その後は互角のゲーム展開であったが、名短付は走ってリズムをつかみ、新地の2本のサイドシュートで6—4とリードする。その後も名短付のペースでゲーム展開し、12—7で前半を終了した。
後半に入ってもややミスが目立ったものの名短付が速い攻撃で着着と得点を重ねていき、やや一方的なゲーム展開となり、残り10分で18—8と10点差がついてしまった。西大寺も粘り強く頑張ったが名短付の堅い守りを攻め切れなかった。

	〔西大寺〕	得
GK	三宅	0
	渡会	0
FP	山本	1
	平川	2
	川部	2
	岡	2
	村上	3
	三村	0
	向井	0
	花房	0
	粟井	0
	鈴木	0
		10

審・夏目、松ヶ谷

	〔名短付〕	得
GK	庵下	0
	洞口	0
FP	川口	2
	新地	2
	梶田	4
	山川	4
	中村	1
	黒木	0
	安田	4
	横川	0
	児島	3
	兒丸	1
		21

コザ（沖縄）19 〔9—8 10—4〕 12 添上

〔戦評〕添上が立ち上がり2点を先取するが、コザが7分過ぎに得点を重ね、8分には当原のサイドシュートが決まり逆転、その後も池原の2連続得点で優位にボールを運ぶ。添上も速攻のパスがつながらず苦戦したが、20分過ぎ、井口、河野のロングシュートで粘りを見せ、8—9の1点差までつめより前半を折り返す。
後半もコザの先制で始まるが、添上・杉原のロングで4得点をあげるなど緊張した試合展開となるが、15分過ぎにコザが4連続得点をあげて添上を突き放した。

	〔添上〕	得
GK	福本	0
	松井	0
FP	杉原	6
	井口	4
	岡田	0
	上野	0
	河野	1
	厚地	0
	坂本	0
	中尾	0
	西本	1
	飯田	0
		12

審・松村、中村

	〔コザ〕	得
GK	森田	0
	伊佐	0
FP	池原	9
	田場	1
	仲村	0
	当原	3
	仲村渠	0
	川上	3
	玉城	0
	垣花	1
	當山	1
	豊里	1
		19

熊本女商 15 〔6—8 9—6〕 14 今治北（愛媛）

〔戦評〕ダブルポスト、一線防御で両チームスタート。序盤、森下のロングシュートなどで熊本女商がリードするが、今治北・丹下のミドルシュートやGK白石の活躍で前半8—6と今治北のリードで終る。
後半、熊本女商は早いパス回しから立て続けに加点し、リードし始める。今治北はロングシュートが決まらず、ファウルから一時引き離されたが、終了前猛追し1点差まで迫ったが及ばなかった。

	〔今治北〕	得
GK	白石	0
	島田	0
FP	矢野	3
	岡	1
	崎山	1
	関	2
	丹下	4
	矢野	0
	青野	0
	菅	3
	大仲	0
	土倉	0
		14

審・小口、小山

	〔熊女商〕	得
GK	木村	0
	橘	0
FP	末金	1
	村上	0
	森下	6
	竹内	1
	長嶺	3
	松村	3
	東	1
	立川	0
	寺本	0
	木村	0
		15

川崎北（神奈川）13 〔8—1 5—4〕 5 北村山

〔戦評〕両チームともミスやチャージングの反則が続き6分まで得点なく、6分過ぎ川崎北・武田の左45度からのシュートを皮切りに森本の速攻などで10分までに5—0とリードする。北村山は何度かのシュートチャンスに得点できずPTもはずし、18分の戸村の右45度のシュートのみで、前半は8—1で終る。
後半、北村山は戸村のシュートや高橋のサイドシュートで得点するも前半の7点差をつめることができず、川崎北が13—5で勝った。

	〔北村山〕	得
GK	折原	0
	遠藤	0
FP	石井	1
	戸村	2
	青木	0
	芳賀	0
	高橋	1
	斉藤	0
	佐藤	0
	細谷	0
	川越	0
	阿部	1
		5

審・島田、後藤

	〔川崎北〕	得
GK	北條	0
	池端	0
FP	小森	0
	吉崎	3
	沓掛	0
	船山	3
	落合	1
	森本	0
	武田	4
	若林	1
	小坏	0
	松島	1
		13

夙川学院 23 〔12—3 11—4〕 7 岩国商（山口）

〔戦評〕前半3分間は両チームとも速攻の攻防が続くが得点には結びつかなかった。先取点を奪い取ったのは岩国商。その後も互いに速い攻めが続く。しかし夙川学院は、サイド速攻を生かし、カットプレーなどで着々と得点をあげ前半を12—3でリードした。
後半、岩国商は太田黒、倉増のロングシュート、ポストプレーで反撃するが、夙川は後半も速攻、

カットプレーを含めた多彩な攻めで得点を重ね、23－7で勝利を収めた。

	〔岩国商〕	得
GK	坂井	0
GK	河本	0
FP	倉増	1
FP	唐本	0
FP	白地	0
FP	太田黒	2
FP	中村	2
FP	佃	2
FP	村上	0
FP	小林	0
FP	西岡	0
FP	田中	0
		7

〔審・小林、土屋〕

	〔夙川〕	得
GK	伊吹	0
GK	中井	0
FP	藤原	0
FP	大井	5
FP	小山	1
FP	財田	6
FP	碇	2
FP	中尾	4
FP	柏木	0
FP	市岡	1
FP	小杉	4
FP	松本	0
		23

静岡城北 12 〔4－5 8－4〕 9 高松東（香川）

〔戦評〕前半、どちらも決定力に欠け、ロングシュートで得点を重ねる高松東が一歩リードした。

後半開始早々同点に追いついた静岡城北は、その後速攻やポストシュートで高松東を一気に突き放し、勝利をものにした。

	〔高松東〕	得
GK	多田	0
GK	寺島	0
FP	熊野	0
FP	石井	0
FP	土井	1
FP	赤松	1
FP	十河	2
FP	橋谷	5
FP	綾野	0
FP	三谷	0
FP	高畑	0
FP	秋友	0
		9

〔審・高田、田村〕

	〔静岡〕	得
GK	瀧下	0
GK	近藤	0
FP	新井	3
FP	海野	6
FP	加納	0
FP	萱津	1
FP	岩石	2
FP	青山	0
FP	鈴木	0
FP	長島	0
FP	大畑	0
FP	鈴木	0
		12

山梨 12 〔8－3 4－6〕 9 清水市商（静岡）

〔戦評〕山梨は深澤の連続ゴールで先制し、試合開始直後2－0とリードした。清水市[illegible]すぐに1点を返したが、互いにペースがつかめずしばらく2－1と山梨リードのままゆっくりとしたゲーム展開が続いた。13分過ぎ、山梨・平塚のサイドシュートで得点が動き始め、山梨ペースで試合が進む。清水市商は再三のチャンスを山梨GK中村の好守に阻まれ、なかなか得点することができず、前半は8－3で終了した。

後半は立ち上がり山梨が2人の退場者を出してリズムを乱し、清水がPT、速攻などで14分過ぎには8－8の同点に追いつく。しかし、ここから山梨が粘り強い守り、攻撃を見せて12－9で逃げ切った。

	〔清水商〕	得
GK	澤野	0
GK	松尾	0
FP	石川	2
FP	望月	3
FP	滝	1
FP	滝戸	0
FP	小長谷	1
FP	久保	2
FP	杉山	0
FP	宇佐美	0
FP	望月	0
FP	稲葉	0
		9

〔審・中山、徳前〕

	〔山梨〕	得
GK	中村	0
GK	平山	0
FP	深澤	5
FP	平塚	1
FP	松土	0
FP	望月	1
FP	田口	0
FP	佐藤	3
FP	佐藤	0
FP	宿沢	0
FP	矢崎	2
FP	武川	0
		12

水海道二 14 〔7－3 7－8〕 11 九州女（福岡）

〔戦評〕立ち上がり、水海道二が高橋のペナルティーで先制してから4連続得点し波に乗る。九州女もフリースローから小林のロングを中心に積極的に攻めるが、相手チームの堅い守りを崩せず、7－3と水海道二がリードして前半を折り返す。

後半に入り水海道二が先取、以後九州女も小林のミドルシュートを中心に粘りを見せ、12分過ぎには3連続得点を決め互角の戦いとなる。その後も一進一退の攻防がくり広げられた、前半のリードを守った水海道二が勝利を収めた。

	〔九州女〕	得
GK	石橋	0
GK	門田	0
FP	野口	2
FP	小林	6
FP	木須	2
FP	箱嶋	1
FP	豊嶋	0
FP	草場	0
FP	安川	0
FP	峰尾	0
FP	平岡	0
FP	安河内	0
		11

〔審・工藤、杉本〕

	〔水海道〕	得
GK	鈴木	0
GK	軽部	0
FP	高橋	8
FP	芦ケ谷	3
FP	小谷内	1
FP	鈴木	0
FP	若林	0
FP	染谷	0
FP	日高	0
FP	野口	0
FP	大村	2
FP	風見	0
		14

盛岡二 14 〔6－5 8－5〕 10 富田女（岐阜）

〔戦評〕両チームとも1・5ディフェンス、シングルポスト。身長に勝る盛岡二のセンタースリーがジャンプフェイントで突破を図り、富田女は山本を軸に半速攻で攻めるが、6－[illegible]と盛岡二が1点をリードして前半を終了。

後半も盛岡二はサイドにもボールを散らし、幅広い展開となり、富田女も野田のロングシュートなどで反撃するが及ばず、4点差をつけて盛岡二が逃げ切った。

	〔富田女〕	得
GK	藤澤	0
GK	隅田	0
FP	伊藤	1
FP	野田	2
FP	山本	3
FP	波多野	2
FP	白木	0
FP	大竹	0
FP	岡田	0
FP	伊藤	0
FP	近藤	0
FP	江口	2
		10

〔審・小口、小山〕

	〔盛岡二〕	得
GK	佐藤	0
GK	杉田	0
FP	及川	3
FP	佐藤	4
FP	山崎	2
FP	阿部	0
FP	高下	0
FP	丹羽	2
FP	千葉	0
FP	菊池	1
FP	古川	1
FP	板谷	1
		14

栃木商 24 〔12－6 12－3〕 9 屋代（長野）

〔戦評〕栃木商が伊佐野のカットインからのシュートで先取点をとり、岡本のロングシュートなどで加点する。屋代も金田や窪田のミドルシュートやポストシュートで追い上げ、20分で6－5と栃木商が1点をリード。しかし、その後栃木商は屋代のパスミスやパスカットからの速攻で4点連取するなどしてたちまち12－6として前半を終る。

後半、屋代はディフェンスが荒くなり、あせりでパスミスやシュートミスをして思うように得点できないうちに栃木商はミスに乗じて速攻などで着々と加点、点差を広げて快勝した。

	〔屋代〕	得
GK	内山	0
GK	深沢	0
FP	宇都宮	0
FP	金児	0
FP	和田	3
FP	久保田	0
FP	窪田	6
FP	塚田	0
FP	寺沢	0
FP	澤	0
FP	木下	0
FP	窪田	0
		9

〔審・浜田、小笠原〕

	〔栃木商〕	得
GK	福田	0
GK	青木	0
FP	直井	2
FP	伊佐野	7
FP	岡本	3
FP	麦倉	2
FP	小林	1
FP	伊沢	3
FP	高瀬	4
FP	須長	0
FP	白石	1
FP	安本	1
		24

聖和学園22〔14―8 / 8―9〕**17 佐賀関（大分）**

〔戦評〕多彩なパスワークで重点を重ねる佐賀関に対し、石垣を中心としたロングシュート、カットインプレーで得点する聖和学園。前半はじめは激しい攻防が続くが聖和学園が前半を14―8とリードした。

後半は両チームの持ち味が出た試合内容で、聖和は高さを生かしたロングシュート、佐賀関は持ち前の速攻とポストプレー。しかし前半のリードを守った聖和学園が22―17で勝利を収めた。

得 0 0 1 2 5 0 1 5 3 0 0
〔佐賀関〕本川永浅川村野本田辺尻
大下吉湯実島小松竹渡北
17

GK FP〔審・酒井 国府〕

〔聖和〕内藤倉垣城藤上戸窪沼橋藤
今佐沼石結佐村宍千代菱高佐
得 0 0 2 11 3 1 1 0 4 0 0 0
22

昭和学院24〔14―4 / 10―3〕**7 那賀（和歌山）**

〔戦評〕前半、昭和学院は全員がよく走り、速攻を中心に着実に点を加えた。一方、那賀はポストプレーを中心に積極的な攻めを見せるが、昭和のマンツー・ディフェンスを破ることはできず、前半で勝負が決まった。

後半も昭和学院はよく走り、勝利をものにした。

得 0 0 0 1 0 1 0 2 0 0 2 1
〔那賀〕崎本原野崎路川岡村田内宮
山山塚飯塩小小金田和藪田
7

GK FP〔審・岩本 板倉〕

〔昭和〕藤本 谷嶋野井澤林部田
林 佐嶋 星 小豊大細梅若阿増
得 0 0 6 5 3 2 1 3 0 0 3 1
24

山陽女15〔7―5 / 8―6〕**11 青森中央（青森）**

〔戦評〕試合開始後、山陽女はペースがつかめず、青森中央が10分までに5―0とリードしたが、山陽女は速攻で次々に加点し、18分には王野のシュートで5―5の同点とした。さらに山陽女はPT、速攻などで加点、7―5として前半を終了した。後半、山陽女が速攻で先制、青森も越後のサイドシュートで久々に得点し、ノーマークやPTなど両チームともチャンスを生かせず互角の展開となった。その後一進一退の展開から山陽女がリードを守って逃げ切った。

得 0 0 3 1 1 2 0 2 2 0 0
〔中央〕田宮村中後藤浦藤原葉滝山
成大木嶋越工三佐柳千黒松
11

GK FP〔審・小西 滝口〕

〔山陽〕見間野実我中槻木田根戸宅
鷲藤王村曽田岩玉飯山青三
得 0 0 1 5 0 2 1 4 [illegible] [illegible] 2 0
15

宣真12〔4―3 / 8―2〕**5 小松商（石川）**

〔戦評〕立ち上がり、小松商は田中のロングシュートを中心にサイドへのずらしでチャンスをつくるが、ラインクロスなどで得点をあげることができない。一方宣真もスタンディングシュート、ポストの落としなど速いボール回しで積極的に攻めるが、小松商GK伴を中心とした堅い守りを崩せない。しかし、15分過ぎ、宣真が4連続得点で逆転してリズムに乗り、前半は4―3で折り返す。

後半に入っても宣真の勢いはとどまらず、関、中里、大舘らが次次とシュートを決め、8連続得点をあげて勝負を決めた。

得 0 0 3 0 0 0 0 1 1 0 0 0
〔小松商〕伴 島出宅藤本崎松中川岡出
藤上三後宮山小田三山北
5

GK FP〔審・福田 細谷〕

〔宣真〕藤下次村川 野里館江山澤
進山稲野荒 関 小中大入奥菅
得 0 0 2 0 3 2 0 3 2 0 0 0
12

郡山女18〔11―4 / 7―5〕**9 本庄（宮崎）**

〔戦評〕前半立ち上がり互いに点を取り合うが、群山女が今野のロングシュートなどで得点を重ね、11―4とリードして前半を終了。

後半に入り、郡山女のディフェンスが乱れるが、GKの好守により本庄は差を縮めることができず18―9で郡山女が勝利を収めた。

得 0 0 0 3 0 1 1 3 0 0 0
〔本庄〕田木口木中生矢藤瀬木瀬崎
坂黒出黒畠大染佐廣赤廣川
9

GK F·P〔審・松原 中野〕

〔郡山女〕田田藤野木田葉藤田賀本 本 薄
安吉斉今三横千伊高志山
得 0 0 3 7 1 3 2 0 2 0 0 0
18

群女短付17〔10―5 / 7―4〕**9 釧路湖陵（北海道）**

〔戦評〕群馬女短付が坂田のポストシュートで先取点をとり、その後ペナルティーシュートや井上の速攻、サイドシュート、永田らのシュートで次々と加点した。一方釧路湖陵も相原のカットインからのシュートなどで追いかけたが、攻撃とシュート力に勝る群馬女短付が10―5と前半をリードした。

後半に入っても流れは変らず、動き、攻撃力に勝る群馬女短付がリードを広げて勝利を収めた。

得 0 0 0 2 3 2 0 2 0 0 0 0
〔湖陵〕塚沢藤原木川々村田田本中塚
平梶遠相佐谷中吉藤橋田永
9

GK FP〔審・奥田 丸谷〕

〔群女短〕葉島川上田津池田谷埜野谷
留
千川肥井永神小坂大河岡神
得 0 0 1 3 [illegible] 4 0 2 0 0 0 1
17

3回戦

夙川学院 18（11―5, 7―8）13 川崎北

〔戦評〕前半立ち上がり、夙川学院はポストプレー、サイドシュートで連取、それに対し川崎北は素早いパスワークによるカットインプレーで応戦。しかし、夙川は大井のミドルシュートを中心に相手のミスを着実に得点につなげ、前半を11―5とリードした。

後半、川崎北は武田のロングシュートを中心に猛反撃するが、夙川はディフェンスをよく守り、大井、小杉の速攻で得点を加え、18―13で勝利を収めた。

	〔川崎北〕	得
GK	北篠	0
GK	池端	0
FP	小森	2
FP	吉崎	0
FP	沓掛	1
FP	船山	0
FP	落合	1
FP	森本	0
FP	武田	9
FP	若林	0
FP	小圷	0
FP	松島	0
		13

〔審・浜田、小笠原〕

	得	〔夙川〕
GK	0	伊吹
GK	0	中井
FP	0	藤原
FP	7	大井
FP	0	小山
FP	2	財田
FP	1	碇
FP	3	中尾
FP	0	柏木
FP	0	市岡
FP	5	小杉
FP	0	松本
	18	

名短付 30（14―14, 16―5）19 コザ

〔戦評〕名短付・山川のミドルシュートでゲームが始まり、名短付は素早いボール回しから着実に得点を重ねていった。一方コザも全員がよく動き、フェイント、パスカットからの速攻などでよくついていった。その後一[illegible]退が続き18分にコザが富山のシュートで同点に追いつき、14―14で前半を折り返した。

後半に入り、名短付がコザ・垣花、田場の退場の間に連続5ゴールをあげて突き放した。コザも池原のサイドシュートなどで対応するが、名短付の動きにディフェンスがついていけなくなり、30―19と最後は大差がついてしまった。

	〔コザ〕	得
GK	森田	0
GK	伊佐	0
FP	池原	6
FP	田場	0
FP	当原	1
FP	仲村渠	0
FP	喜久本	0
FP	川上	3
FP	玉城	0
FP	垣花	1
FP	當山	4
FP	豊里	4
		19

〔審・高田、田村〕

	得	〔名短付〕
GK	0	庵下
GK	0	洞口
FP	5	川口
FP	1	新地
FP	5	梶田
FP	9	山川
FP	1	中村
FP	0	黒木
FP	6	安田
FP	0	横川
FP	2	児島
FP	1	兒丸
	30	

熊本女商 18（9―0, 9―6）6 山梨

〔戦評〕松村のロングシュートで先行した熊本女商がよく走り、得点を重ねた。一方、山梨は熊本女商のディフェンスを攻めあぐみ、前半は9―0と熊本女商が一方的にリードして終る。

後半、山梨は意地を見せ反撃を見せたが、結局地力に勝る熊本女商が18―6で山梨を振り切った。

	〔山梨〕	得
GK	中村	0
GK	平山	0
FP	深沢	3
FP	平塚	1
FP	松土	0
FP	望月	2
FP	田口	0
FP	佐藤	0
FP	雨宮	0
FP	宿沢	0
FP	矢崎	0
FP	武川	0
		6

〔審・松村、中村〕

	得	〔熊女商〕
GK	0	木村
GK	0	橘
FP	0	末金
FP	2	村上
FP	9	森下
FP	0	竹内
FP	0	長嶺
FP	4	松村
FP	1	東
FP	1	立川
FP	1	寺本
FP	0	木村
	18	

静岡城北 11（5―5, 6―4）9 栃木商

〔戦評〕立ち上がり3分は両チームともディフェンスを堅め、速攻につなげるが決定的なチャンスに結びつけることができなかった。3分過ぎに静岡城北が新井のシュートフェイントからのカットイン、萱津の速攻で2点を連取、一方栃木商も伊佐野の速攻などで4連続得点し4―2と逆転する。中盤はお互いによく守りゴールを割らせないが、15分過ぎると静岡城北が速攻で3点連取し再び逆転、栃木商も追いついて5―5で前半を折り返す。

後半に入ると、静岡城北が新井のロングシュートを中心とした攻撃にポストプレーを加え4連続得点、栃木商も直井のロングシュートを軸に[illegible]16分過ぎには9―10と再び1点差とする。しかし、栃木商の追撃も静岡城北GK瀧下の好守に阻まれ、追いつくことができず、2点差で静岡城北が逃げ切った。

	〔栃木商〕	得
GK	福田	0
GK	青木	0
FP	直井	2
FP	伊佐野	4
FP	岡本	0
FP	麦倉	1
FP	小林	0
FP	伊沢	0
FP	高瀬	2
FP	入江	0
FP	小栗	0
FP	安本	0
		9

〔審・夏目、松ヶ谷〕

	得	〔静岡〕
GK	0	瀧下
GK	0	近藤
FP	5	新井
FP	0	海野
FP	0	加納
FP	2	萱津
FP	2	岩石
FP	1	青山
FP	1	鈴木
FP	0	長島
FP	0	大畑
FP	0	鈴木
	11	

水海道二 18（7―1, 11―4）5 盛岡二

〔戦評〕盛岡二のスローオフで始まったが、両チームともやや動きが堅く、ミスが多い出だしであった。そんな中で水海道二がいち早く立ち直り、高橋のPT、小谷内の速攻などで7連続ゴールをあげた。一方盛岡二は攻撃が単調になり、21分に山崎のポストシュートでこの試合の初得点を決め、7―1で前半を終了した。

後半に入り、盛岡二の及川のポスト、丹羽のロングで連続ゴールをあげたが、水海道二・森、野口などの連続速攻などで得点を加え攻撃力に勝る水海道二が18―5で勝利を収めた。

	〔盛岡二〕	得
GK	佐藤	0
GK	杉田	0
FP	及川	1
FP	佐藤	0
FP	山崎	1
FP	阿部	0
FP	高下	0
FP	丹羽	2
FP	千葉	0
FP	菊池	0
FP	古川	1
FP	板谷	0
		5

〔審・中山、徳前〕

	得	〔水海道〕
GK	0	鈴木
GK	0	軽部
FP	4	高橋
FP	1	芦ヶ谷
FP	2	森
FP	2	小谷内
FP	2	鈴木
FP	1	若林
FP	2	染谷
FP	1	日高
FP	2	野口
FP	1	大村
	18	

聖和学院 16（8―5, 8―10）15 聖和学園

〔戦評〕昭和学院、聖和学園ともにパスワーク、走りを中心にしたゲームを展開した。フリースローからのミドルシュート、スピードを生かしたカットインプレー、ステップなどで得点を重ねたが、速攻のスピードにやや勝る昭和が前半を8−5とリードして終る。
　後半立ち上がり、聖和が同点に追いついてからは一進一退の攻防が続いたが、終了直前に、サイド、ミドルと2本のシュートを確実に決めた昭和学院が勝利を収めた。

〔聖和〕		得
GK	今内	0
GK	佐藤	0
FP	沼倉	0
FP	石垣	3
FP	結城	4
FP	佐藤	0
FP	村上	0
FP	宍戸	1
FP	千代窪	7
FP	菱沼	0
FP	高橋	0
FP	佐藤	0
		15

〔審・福田・細谷〕

得	〔昭和〕	
0	林	GK
0	佐藤	GK
1	嶋本	FP
0	袴田	FP
4	星	FP
0	小谷	FP
1	豊嶋	FP
1	大野	FP
0	細井	FP
1	梅澤	FP
2	阿部	FP
6	増田	FP
16		

宣　真 14 （8−4、6−5） **9 山陽女**

〔戦評〕開始早々、山陽女は村実のミドルシュートで先制、宣真も速攻から荒川のシュートで追いつき、その後互角のゲーム展開となる。12分過ぎ、宣真・中里のカットインシュートから宣真がペースをつかみ始め、山陽女のミスにも助けられて前半は7−4とリードして折り返した。
　後半も山陽女がフォーメーションでシュートを決め先制するが、宣真も速攻で返し、前半立ち上がりと同様の展開となり、宣真のペースで進行したが、17分に2名の退場者を出しリズムを乱し、山陽女が11−8と3点差までつめ寄ったがそこまで。終始よく走った宣真が勝利を収めた。

〔山陽女〕		得
GK	鷲見	0
GK	藤間	0
FP	王野	3
FP	村実	3
FP	曽我	0
FP	田中	0
FP	岩槻	1
FP	玉木	0
FP	飯田	0
FP	山根	0
FP	青戸	2
FP	三宅	0
		9

〔審・小林・土屋〕

得	〔宣真〕	
0	進藤	GK
0	山下	GK
3	稲次	FP
1	野村	FP
4	荒川	FP
2	関	FP
1	小野	FP
1	中里	FP
2	大舘	FP
0	入江	FP
0	奥山	FP
0	菅澤	FP
14		

郡山女 16 （6−4、10−7） **11 群女短付**

〔戦評〕序盤戦はお互いにセットプレー、速攻ともにリズムがつかめず、相手の出方をうかがう形となる。郡山女は今野のロング、横田のスタンディングを中心に得点を重ねる。一方群馬も永田、神津のミドル、ポストへの落としで反撃し、2点差で折り返す。
　後半は郡山の出足の速いディフェンスからの速攻で、10分過ぎに3点を連取し4点差をつけたものの、群馬も永田のミドルシュート、神谷のカットインで1点差までつめ寄る。一進一退の白熱したゲームとなるが、残り5分で今野、横田のミドルシュート、高田の速攻で得点を重ねた郡山が[illegible]を突き放して勝利を収めた。

〔群女短〕		得
GK	千葉	0
GK	川島	0
FP	肥留川	0
FP	井上	0
FP	永田	6
FP	神津	1
FP	小池	1
FP	坂田	2
FP	大谷	0
FP	寺田	0
FP	石川	0
FP	神谷	1
		11

〔審・丸谷・奥田〕

得	〔郡山女〕	
0	安田	GK
0	吉田	GK
1	斉藤	FP
8	今野	FP
0	三本木	FP
2	横田	FP
0	千葉	FP
1	伊東	FP
4	高田	FP
0	志賀	FP
0	山本	FP
0	矢口	FP
16		

4回戦

熊本女商 27 （10−9、8−9、1−1、2−2、1−3、5−1） **25 名短付**

〔戦評〕立ち上がりから攻守の切り替えの早い好ゲームとなった。名短付は山川のミドルシュート、熊本女商は松村のロングシュートなどで得点を重ね、一進一退のゲーム展開となり、前半終了直前に熊本女商・森川のカットインシュートが決まり1点差で折り返した。
　後半に入り、熊本女商・東のサイドシュートが決まり2点差としたが、名短付も梶田のカットインシュートなどですぐに同点とし、山川の速攻で逆転した。その後、熊本女商もよく反撃し、逆転また逆転のゲーム展開となり、同点で延長戦に入った。
　延長に入っても一進一退が続き、第2延長までもつれこんだが、熊本女商GK橘の好守もあり、熊本女商が2点差で勝利を収めた。

〔名短付〕		得
GK	庵下	0
GK	洞口	0
FP	川口	2
FP	新地	2
FP	梶田	7
FP	山川	10
FP	中村	1
FP	黒木	0
FP	安田	3
FP	横川	0
FP	児島	0
FP	兒丸	0
		25

〔審・秋山・中森〕

得	〔熊女商〕	
0	木村	GK
0	橘	GK
2	末金	FP
0	村上	FP
16	森下	FP
1	竹内	FP
0	長嶺	FP
4	松村	FP
4	東	FP
0	立川	FP
0	寺本	FP
0	木村	FP
27		

夙川学院 16 （8−0、8−5） **5 静岡城北**

〔戦評〕双方なかなかシュートが決まらなかったが、夙川が3分46秒、中尾のカットインシュートで先行する。その後、スピードに勝る夙川は財田がポストシュート、大井がサイドシュートやPTを決め着々と得点を加える。一方静岡城北は、夙川の厳しいチェックと堅い守りに阻止され得点をあげることができず、8−0で前半を

〔静城北〕		得
GK	瀧下	0
GK	近藤	0
FP	新井	2
FP	海野	1
FP	加納	0
FP	萱津	1
FP	岩石	0
FP	青山	0
FP	鈴木	0
FP	長島	1
FP	大畑	0
FP	鈴木	0
		5

〔審・中山・徳前〕

得	〔夙川〕	
0	伊吹	GK
0	中井	GK
0	藤原	FP
8	大井	FP
[illegible]	財田	FP
[illegible]	碇	FP
5	中尾	FP
0	井上	FP
0	柏木	FP
1	市岡	FP
0	小杉	FP
0	松本	FP
16		

終る。

後半、静岡城北・新井がPTを決めて反撃を開始するが、前半の点差が大きく、大差で夙川学院が勝利を収めた。

宣真 22 （12−4／10−4） 8 水海道二

〔戦評〕開始1分、宣真・中里のカットインシュートで先制、その後も随所にポストをからめながら加点する。一方水海道二も6分過ぎ芦ヶ谷が得点し、リズムに乗れるかと思われたが、宣真の堅い守りに攻撃をなかなか見出せず、攻めあぐねるのに対し、宣真は速攻で確実に得点を伸ばし、12−4で前半を終る。

後半開始早々、水海道二・野口のサイドシュートで追撃するも、宣真・稲沢のステップで連続得点し、その後も速攻を中心に攻めまくる。水海道二も最後まで試合をあきらめず必死で防戦するが、力及ばず宣真の前に力尽きる。

〔水海道〕	得
鈴木	0
軽部	0
高橋	2
芦ヶ谷	2
森谷	0
小内	0
鈴木	1
若林	0
染谷	1
日高	0
野口	2
大村	0
	8

GK（鈴木・軽部）　FP（高橋〜大村）

〔審・田村 高田〕

得	〔宣真〕
0	進藤
0	山下
5	稲次
0	野村
6	荒川
4	関
1	小野
4	中里
2	大館
0	入江
0	奥山
0	菅澤
22	

GK（進藤・山下）　FP（稲次〜菅澤）

郡山女 19 （12−5／7−7） 12 昭和学院

〔戦評〕郡山女・今[illegible]速攻による得点で始まったこの試合は、郡山女が先行し昭和学院が追いかけるという形になった。多彩な攻撃とスピードに勝る郡山女が前半12−5とリードした。後半立ち上がり、昭和学院・星のロングシュート、ペナルティーで2点連取したが、その後は郡山女の厚いディフェンスに阻まれ、結局19−12で郡山女がベスト4に勝ち進んだ。

〔昭和〕	得
林	0
佐藤	0
嶋本	3
袴田	0
星	2
小谷	0
豊嶋	0
大野	1
細井	0
梅澤	0
阿部	5
増田	1
	12

GK（林・佐藤）　FP（嶋本〜増田）

〔審・国府 酒井〕

得	〔郡山女〕
0	安田
0	吉田
1	斉藤
6	今野
0	三本木
6	横田
1	千葉
2	伊東
3	高田
0	志賀
0	山本
0	薄
19	

GK（安田・吉田）　FP（斉藤〜薄）

準決勝

宣真 23 （11−9／12−12） 21 熊本女商

〔戦評〕前半立ち上がりより一進一退の攻防が展開された。開始30秒、熊本女商はポストプレーでPTをとり先行する。これに対して宣真は5分、荒川の強引なポストプレーで応戦する。さらに宣真は中盤相手ミスからの速攻などで5点を連取、11−9と2点をリードして前半を折り返した。

後半に入り、宣真は関のロングシュートやずらしからのサイドシュートとポストプレー、それてディフェンスからの速攻とバランスよく加点した。これに対し、熊本女商はセンス抜群の森下がよく動き、終了3分前に1点差に追いつくが、宣真・荒川のPTとポストシュートで加点し、決勝進出を決めた。



シュートを放つ宣真・稲沢

〔熊女商〕	得
木村	0
橘	0
末金	0
村上	0
森下	14
竹内	0
長嶺	3
松村	3
東	1
立川	0
寺本	0
木村	0
	21

GK（木村・橘）　FP（末金〜木村）

〔審・土屋 小林〕

得	〔宣真〕
0	進藤
0	山下
1	稲次
0	野村
8	荒川
7	関
2	小野
4	中里
1	大館
0	入江
0	奥山
0	菅津
23	

GK（進藤・山下）　FP（稲次〜菅津）

夙川学院 18 （10−6／8−9） 15 郡山女

〔戦評〕開始1分、PTで1点を先取した郡山女が、今野のロングシュートで3−1とリードを奪う。そこからは両チームとも好ディフェンスにより得点を重ねることができないが、夙川は7分に速攻を決めペースを取り戻し、大井のロングシュートなどで4連続得点をあげて前半を10−6で折り返した。

後半に入り、郡山女は退場で一人欠いた夙川を攻めてペースに乗り、18分に15−15の同点に追いつくが、夙川・大井のカットインに追撃を阻まれ、結局18−15で夙川が逃げ切った。

〔郡山女〕	得
安田	0
吉田	0
斉藤	0
今野	10
三本木	0
横田	4
千葉	1
伊東	0
高田	0
志賀	0
山本	0
矢口	0
	15

GK（安田・吉田）　FP（斉藤〜矢口）

〔審・清水 内藤〕

得	〔夙川〕
0	伊吹
0	中井
0	藤原
8	大井
0	小山
2	財田
0	碇
4	中尾
0	柏木
2	市岡
2	小杉
0	松本
18	

GK（伊吹・中井）　FP（藤原〜松本）

決勝

宣真 13 （6−6／7−4） 10 夙川学院

〔戦評〕立ち上がり両チームとも堅さが目立ちなかなかペースに乗ることができなかった。1分20秒、夙川が大井のロングシュートで先制すれば、4分には宣真・関がロングシュートで応戦、そこからは一進一退、結局6−6の同点で前半を折り返す。

後半に入ると、宣真はポストプレーや相手ミスからの速攻で一歩抜き出る。一方、夙川も大井のロングシュートなどで食い下がるが宣真のディフェンスを崩し切れず、13−10で宣真がふり切り、優勝を決めた。

〔夙川〕	得
伊吹	0
中井	0
藤原	0
大井	6
財田	0
碇	3
中尾	0
井上	0
柏木	0
市岡	0
小杉	1
松本	0
	10

GK（伊吹・中井）　FP（藤原〜松本）

〔審・土屋 小林〕

得	〔宣真〕
0	進藤
0	山下
0	稲次
0	野村
5	荒川
2	関
0	小野
3	中里
3	大館
0	入江
0	奥山
0	菅澤
13	

GK（進藤・山下）　FP（稲次〜菅澤）

各地の記録から・・・

関東

第9回千葉県クラブ春季リーグ

（5月19、26日、6月9日／市戸松戸高、県立小金高）

▼1部リーグ

小金ク 26―17 若松ク
小金ク 28―12 市川FOG
小金ク 12―0 勝浦パイレーツ
小金ク 17―7 佐原ク
若松ク 12―0 勝浦パイレーツ
若松ク 24―18 佐原ク
市川FOG 23―22 若松ク
市川FOG 23―15 佐原ク
勝浦 22―19 市川FOG
パイレーツ
勝浦 13―4 佐原ク
パイレーツ

（順位）①小金クラブ②若松クラブ③市川FOG④勝浦パイレーツ⑤佐原クラブ

▼2部Aリーグ

沼南ク 28―20 千葉南ク
沼南ク 24―23 芝浦柏ク
千葉南ク 22―17 芝浦柏ク

▼2部Bリーグ

勝浦 12―0 あさひク
グレープス 32―29 勝浦
FIKS 22―15 FIKS
あさひク
グレープス

▼2部順位決定戦

沼南ク 16―12 勝浦
千葉南ク 28―18 FIKS
芝浦柏ク 12―0 あさひク

（順位）①沼南クラブ②勝浦グレープス③千葉南クラブ④FIKS⑤芝浦柏クラブ⑥あさひクラブ

▼3部リーグ

柏南ク 29―19 市松ク
柏南ク 18―16 スティー
柏南ク 43―8 ラーズ
柏南ク 22―15 道野辺ク
市松ク 32―23 流山中央ク
スティー
市松ク 31―21 ラーズ
市松ク 22―19 道野辺ク
スティー 20―20 流山中央ク
ラーズ 道野辺ク
スティー 30―17 流山中央ク
ラーズ
道野辺ク 22―21 流山中央ク

（順位）①柏南クラブ②市松クラブ③スティーラーズ④道野辺クラブ⑤流山中央クラブ

▼4部Aリーグ

デサント 23―7 若潮ク
デサント 12―0 日球会ク
若潮ク 12―0 日球会ク

▼4部Bリーグ

松戸 21―17 木更津ク
ボーカーズ
松戸 26―12 気象大HC
ボーカーズ
木更津ク 24―23 気象大HC

▼4部順位決定戦

デサント 40―7 松戸ボーカーズ
木更津ク 32―11 若潮ク
気象大HC 12―0 日球会ク

（順位）①デサント②松戸ボーカーズ③木更津クラブ④若潮クラブ⑤気象大HC⑥日球会クラブ

第37回関東高校選手権

（6月1～3日／市川市民体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦

明星（東京） 26―16 足利工（栃木）
笠間（茨城） 30―26 駿台甲府（山梨）
横浜商工（神奈川） 24―17 二松沼南（千葉）
国学院栃木（栃木） 19―11 東邦（千葉）
国分寺（東京） 17―14 桐蔭学園（神奈川）
吉井（群馬） 24―18 日大明誠（山梨）
川崎北（神奈川） 16―15 下仁田（群馬）
浦和実（埼玉） 22―13 八千代（千葉）
東京（東京） 20―13 小山南（栃木）
川口青陵（埼玉） 24―16 成城（東京）
水海道一（茨城） 17―16 法政二（神奈川）

▼2回戦

浦和学院（埼玉） 27―18 明星
横浜商工 31―21 笠間
国学院栃木 28―6 国分寺
吉井 26―25 土浦日大（茨城）
日川（山梨） 19―12 川崎北
浦和実 22―14 東京
川口青陵 28―23 富岡
市川（千葉） 30―16 水海道一

▼3回戦

浦和学院 21―13 横浜商工
吉井 16―15 国学院栃木
浦和実 24―14 日川
市川 21―11 川口青陵

▼準決勝

浦和学院 19―15 吉井
市川 19―14 浦和実

▼決勝

市川 19（8―7、11―11）18 浦和実

〈女子〉

▼1回戦

麻生（茨城） 21―17 佼成女（東京）
川口青陵（埼玉） 14―11 小山西（栃木）
群馬女（群馬） 19―11 流山中央（千葉）
日川（山梨） 24―16 竜ヶ崎一（茨城）
伊奈学園（埼玉） 9―7 東邦（千葉）
江東商（東京） 15―12 明倫（神奈川）
栃木商（栃木） 27―11 吉田（山梨）
横浜日野（神奈川） 21―10 吉井（群馬）
文大杉並（東京） 22―17 和洋（千葉）
菊華（東京） 12―8 山梨（山梨）
多摩（神奈川） 24―19 桐生西（群馬）

▼2回戦

麻生 19―15 川崎北（神奈川）
群馬女 20―14 川口青陵
日川 22―10 伊奈学園
江東商 17―16 国学院栃木
水海道二（茨城） 14―13 栃木商（栃木）
文大杉並 20―9 横浜日野
浦和実（埼玉） 31―14 菊華
昭和（千葉） 31―15 多摩

▼3回戦
群馬女 17－15 麻生
江東商 23－11 日川
水海道二 18－7 文大杉並
浦和実 13－12 昭和
▼準決勝
江東商 19－16 群馬女
浦和実 17－11 水海道二
▼決勝
浦和実 19（9－9、10－4）13 江東商

第14回群馬県中学春季大会

（6月2、9日／富岡実業高校、富岡小学校）

〈男子〉
▼1回戦
甘楽二 22－13 矢中
甘楽三 24－13 相生
下西 30－6 下東
藤岡北 28－14 南八幡
富岡東 20－11 富岡西
▼2回戦
富岡 22－16 甘楽二
下西 19－14 甘楽三
富岡南 11－9 藤岡北
藤岡南 16－9 富岡東
▼準決勝
富岡 19－16 下西
富岡南 16－12 藤岡南
▼決勝
富岡 17（9－6、8－9）15 富岡南

〈女子〉
▼1回戦
富岡東 10－7 富岡西
高南 25－4 塚沢
富岡 14－4 相生
富岡南 10－4 矢中
▼準決勝
高南 9－6 富岡東
富岡南 16－6 富岡
▼決勝
富岡南 19（11－5、8－6）11 高南

東海

愛知県高校総体

◎東三河支部

〈男子〉
▼1回戦
豊橋西 38－8 新城東
国府 37－8 豊橋商
御津 16－11 三谷水産
蒲郡東 26－9 豊橋東
豊橋工 30－13 豊丘
桜丘 22－5 豊橋南
▼2回戦
豊川工 23－17 豊橋西
御津 22－17 国府
豊橋工 9－8 蒲郡東
時習館 12－8 桜丘
▼準決勝
御津 13－11 豊川工
豊橋工 13－9 時習館
▼3位決定戦
豊川工 16－12 時習館
▼決勝
御津 24－21 豊橋工

〈女子〉
▼1回戦
豊橋西 25－8 御津
蒲郡 11－10 蒲郡東
豊橋南 22－12 豊橋東
国府 20－6 豊丘
▼準決勝
豊橋西 23－6 蒲郡
豊橋南 15－12 国府
▼決勝
豊橋南 13－10 豊橋西

◎知多支部

〈男子〉
▼1回戦
大府 21－19 半田工
武豊 12－8 東浦
知多 16－7 常滑北
阿久比 27－14 大府東
知多東 12－9 横須賀
▼2回戦
半田 20－13 大府
武豊 16－14 知多
東海南 20－14 阿久比
半田東 19－12 知多東
▼準決勝
半田 24－15 武豊
半田東 21－14 東海南
▼3位決定戦
東海南 20－18 武豊
▼決勝
半田東 15－14 半田

〈女子〉
▼1回戦
阿久比 20－4 横須賀
東浦 12－0 知多
常滑北 6－4 東海商
武豊 16－3 常滑
知多東 10－2 東海南
半田東 13－2 大府
半田 13－9 桃陵
▼2回戦
半田商 16－1 阿久比
常滑北 11－6 東浦
武豊 11－5 知多東
半田 16－7 半田東
▼準決勝
半田商 16－8 常滑北
半田 14－13 武豊
▼3位決定戦
武豊 13－8 常滑北
▼決勝
半田商 15－10 半田

◎名北支部

〈男子〉
▼1回戦
春日井西 25－18 瀬戸
長久手 17－15 名東
旭野 19－13 春日井東
春日井 22－19 市工芸
春日井工 24－1 愛知工
東山工 26－13 名古屋西
東海 19－12 千種
春日丘 20－18 栄徳
瀬戸西 14－11 東邦
旭丘 23－15 明和
守山 36－11 瀬戸北
名大付 16－16（2PTC1）菊里
北 21－14 山田
▼2回戦
高蔵寺 36－16 春日井西
長久手 22－19 旭野
春日井 23－9 春日井工
東海 24－9 東山工
春日井南 23－13 春日丘
旭丘 18－12 瀬戸西
名大付 28－13 守山
愛知 40－7 北
▼3回戦
高蔵寺 38－5 長久手
東海 15－10 春日井
春日井南 12－11 旭丘
愛知 27－16 名大付
▼5～8位決定戦
春日井 21－10 長久手
旭丘 25－18 名大付
▼7位決定戦
名大付 25－17 長久手
▼5位決定戦
春日井 20－15 旭丘
▼準決勝
高蔵寺 19－13 東海
愛知 18－12 春日井南
▼3位決定戦
春日井南 19－10 東海
▼決勝
愛知 26－19 高蔵寺

〈女子〉
▼1回戦
東邦 26－8 瀬戸北
春日井南 11－9 名古屋商
春日井商 20－12 名東
高蔵寺 14－13 千種
春日井東 28－11 栄徳
市邨 21－12 市工芸
瀬戸 27－14 瀬戸西
長久手 6－4 西陵商
名大付 11－6 名古屋西
菊里 13－12 北

▼2回戦

中京女 29－1 東邦
春日井南 17－9 春日井商
緑丘商 30－6 高蔵寺
愛知商 26－19 春日井東
春日井 24－14 市邨
旭野 23－7 瀬戸
長久手 22－8 名大付
春日井西 27－7 菊里

▼3回戦

中京女 20－6 春日井南
緑丘商 20－14 愛知商
春日井 17－10 旭野
春日井西 29－4 長久手

▼5～8位決定戦

愛知商 20－12 春日井南
旭野 22－12 長久手

▼5位決定戦

愛知商 17－12 旭野

▼準決勝

中京女 25－11 緑丘商
春日井西 26－22 春日井

▼3位決定戦

春日井 18－15 緑丘商

▼決勝

春日井西 16－14 中京女

◎尾張支部

〈男子〉

▼1回戦

美和 15－14 一宮工
岩倉 12－11 津島東
稲沢東 13－6 尾北
佐織工 21－11 西春
江南 15－14 平和
犬山南 16－5 丹羽
尾関学園 11－10 稲沢
一宮興道 16－9 新川
尾西 7－3 一宮北
一宮 17－7 小牧工
五条 30－8 弥富
津島 16－13 一宮南

▼2回戦

一宮西 25－5 美和
稲沢東 24－12 岩倉
佐織工 28－9 起工
犬山南 16－10 江南
小牧南 25－8 尾関学園
尾西 19－9 一宮興道
一宮 18－14 五条
蟹江 32－10 津島

▼3回戦

一宮西 26－3 稲沢東
佐織工 19－9 犬山南
小牧南 22－14 尾西
蟹江 16－3 一宮

▼準決勝

佐織工 16－12 一宮西
小牧南 19－15 蟹江

▼3位決定戦

蟹江 20－14 一宮西

▼決勝

佐織工 22－18 小牧南

〈女子〉

▼1回戦

一宮西 12－9 岩倉
一宮興道 17－6 稲沢東
尾西 12－1 津島
江南 13－7 新川
美和 13－11 尾北
一宮 12－10 平和
五条 13－4 一宮南

▼2回戦

一宮女 23－5 一宮西
一宮興道 9－5 一宮北
西春 10－9 尾西
蟹江 20－2 津島女
木曽川 13－7 江南
犬山南 16－3 美和
一宮商 19－10 一宮
佐屋 23－2 五条

▼3回戦

一宮女 14－5 一宮興道
蟹江 10－9 西春
木曽川 11－5 犬山南
佐屋 15－6 一宮商

▼準決勝

一宮女 10－5 蟹江
佐屋 12－3 木曽川

▼3位決定戦

木曽川 9－8 蟹江

▼決勝

佐屋 8－4 一宮女

◎名南支部

〈男子〉

▼1回戦

昭和 30－8 享栄
東郷 14－13 中村
日進西 23－15 松蔭
惟信 25－7 同朋
南陽 20－14 瑞陵
豊明 17－16 名商大付
緑 24－9 名城大附
名古屋大谷 19－13 熱田
星城 20－12 日進
天白 21－14 鳴海

▼2回戦

桜台 27－12 昭和
東郷 21－15 名市工
日進西 20－17 惟信
名古屋南 24－13 南陽
中京 28－11 豊明
緑 25－13 名古屋大谷
天白 16－15 星城
名南工 35－9 向陽

▼3回戦

桜台 33－9 東郷
名古屋南 11－10 日進西
中京 13－11 緑
名南工 28－15 天白

▼5位決定戦

日進西 32－20 東郷
天白 12－10 緑
日進西 10－9 天白

▼準決勝

桜台 32－9 名古屋南
名南工 21－11 中京

▼3位決定戦

中京 17－11 名古屋南

▼決勝

桜台 25－21 名南工

〈女子〉

▼1回戦

富田 23－4 昭和
熱田 13－12 中村
中川商 32－2 名女大
桜台 11－7 向陽
名古屋南 22－4 同朋
東郷 不戦勝 豊明
高蔵 14－10 星城
鳴海 18－4 瑞陵

▼2回戦

東海女 40－6 富田
日進西 30－9 熱田
中川商 23－5 南陽

天白 12－9 桜台
松蔭 25－12 名古屋南
東郷 12－9 惟信
高蔵 11－6 若宮商
名短付 43－1 鳴海
▼3回戦
東海女 26－3 日進西
天白 26－10 中川商
松蔭 13－6 東郷
名短付 34－4 高蔵
▼5位決定戦
中川商 15－12 日進西
東郷 10－6 高蔵
東郷 15－8 中川商
▼準決勝
東海女 26－2 天白
名短付 27－6 松蔭
▼3位決定戦
松蔭 12－11 天白
▼決勝
東海女 16－11 名短付

◎西三河支部

〈男子〉
▼1回戦
西尾実 17－4 碧南
碧南工 14－11 西尾東
三河 12－6 安城南
岡崎西 26－5 吉良
衣台 25－5 豊田工
岡崎東 15－14 豊田北
岡崎 15－10 豊野
豊田南 21－7 幸田
一色 10－7 刈谷工
豊田 24－8 三好
岡崎北 21－3 高浜
刈谷 15－6 岡崎工
安城 11－9 刈谷北
西尾 13－9 知立東
▼2回戦
岡崎城西 34－7 西尾実
三河 28－6 碧南工
岡崎西 22－8 衣台
岡崎 12－6 岡崎東
豊田南 29－6 一色
岡崎北 15－7 豊田
刈谷 15－10 安城
安城東 23－9 西尾
▼3回戦
岡崎城西 36－13 三河
岡崎西 14－12 岡崎
豊田南 24－14 岡崎北
安城東 24－16 刈谷
▼5～8位決定リーグ
岡崎 18－6 岡崎北
三河 15－9 岡崎
岡崎 23－10 刈谷
岡崎北 17－13 三河
岡崎北 24－20 刈谷
刈谷 21－14 三河
▼決勝リーグ
岡崎城西 31－12 安城東
岡崎城西 25－10 豊田南
岡崎城西 31－5 岡崎西
安城東 22－18 豊田南
安城東 19－18 岡崎西
豊田南 20－11 岡崎西
〈女子〉
▼1回戦
岡崎商 16－13 西尾東
刈谷北 5－3 知立東
岡崎北 17－7 豊田東
岡崎 24－2 安城南
岩津 18－4 一色
安城 15－5 愛教大附
西尾 18－5 幸田
安城東 11－6 刈谷
豊野 13－4 豊田
衣台 32－2 碧南
岡崎東 30－8 吉良
知立 9－3 豊田北
▼2回戦
安城学園 26－3 岡崎商
岡崎北 9－4 刈谷北
岡崎 20－7 岩津
豊田南 22－3 安城
岡崎東 10－6 衣台
岡崎西 17－4 知立
▼3回戦
安城学園 24－5 岡崎北
豊田南 11－10 岡崎
三好 30－7 豊野
岡崎西 27－12 岡崎東
▼5～8位決定リーグ
豊野 16－4 岡崎
豊野 19－14 岡崎東
豊野 21－4 岡崎北
岡崎 15－12 岡崎東
岡崎 8－7 岡崎北
岡崎東 20－14 岡崎北
▼決勝リーグ
三好 13－12 安城学園
三好 12－12 岡崎西
三好 11－4 豊田南
安城学園 16－7 岡崎西
安城学園 22－9 豊田南
岡崎西 16－4 豊田南

◎県大会

〈男子〉
▼1回戦
小牧南 20－10 東海南
半田 25－20 豊川工
佐織工 21－20 豊田南
春日井南 18－17 安城東
一宮西 20－13 半田東
名古屋南 18－11 豊橋工
中京 20－13 東海
岡崎 18－10 御津
▼2回戦
桜台 32－9 小牧南
高蔵寺 28－12 半田
岡崎西 19－15 佐織工
愛知 21－10 春日井南
名南工 30－13 一宮西
蟹江 26－20 名古屋南
中京 24－16 日進西
岡崎城西 33－7 岡崎
▼3回戦
高蔵寺 20－16 桜台
愛知 25－11 岡崎西
名南工 32－23 蟹江
岡崎城西 21－14 中京
▼決勝リーグ
愛知 25－12 高蔵寺
岡崎城西 24－22 名南工
名南工 21－18 高蔵寺
岡崎城西 22－17 愛知
岡崎城西 21－15 高蔵寺
名南工 23－19 愛知
〔順位〕①岡崎城西②名南工③愛知④高蔵寺
〈女子〉
▼1回戦
半田商 14－13 豊田南
岡崎西 15－9 東郷
春日井 22－21 豊橋南
中京女 29－7 豊橋西
半田 17－9 蟹江
緑丘商 18－5 国府
安城学園 21－12 天白
一宮女 23－9 中川商
▼2回戦
東海女 35－3 半田商
岡崎西 14－10 松蔭
佐屋 17－7 春日井
中京女 18－10 春日井西
三好 17－8 半田
緑丘商 21－6 武豊
安城学園 25－14 木曽川
名短付 24－7 一宮女
▼3回戦
東海女 25－5 岡崎西
佐屋 20－10 中京女
三好 18－7 緑丘商
名短付 25－12 安城学園
▼決勝リーグ
東海女 26－2 佐屋
名短付 26－11 三好
東海女 12－5 三好
名短付 26－11 佐屋
名短付 15－13 東海女
三好 13－10 佐屋
〔順位〕①名短付②東海女③三好④佐屋

三重県高校総体

（6月1日～3日／ジャスコ体育館ほか）
〈男子〉
▼1回戦
四日市 17－15 四日市中央工

津東 16－14 名張西
桑名 27－5 津工
川越 26－13 上野工
海星 27－7 津西
桑名北 21－13 四日市南
四日市西 23－16 尾鷲
桑名西 17－9 高田
亀山 26－5 津

▼2回戦
四日市工 30－12 四日市
桑名 28－10 津東
桑名工 28－8 川越
桑名北 30－9 海星
四日市四郷 26－12 四日市西
亀山 22－6 桑名西

▼3回戦
四日市工 17－11 桑名
桑名工 30－10 桑名北
亀山 13－12 四日市四郷

▼決勝リーグ
四日市工 19－12 亀山
桑名工 12－10 亀山
四日市工 9－5 桑名工
〔順位〕①四日市工②桑名工③亀山

〈女子〉

▼1回戦
四日市 30－6 尾鷲
四日市西 14－11 上野
川越 13－5 四日市四郷

▼2回戦
暁 27－3 四日市
名張西 19－6 桑名
四日市商 28－3 四日市西
津東 29－5 桑名西
四日市南 15－12 川越
津 10－8 松阪女

▼3回戦
暁 27－4 名張西
四日市商 不明 津東
四日市南 17－11 津

▼決勝リーグ
暁 26－0 四日市南
四日市商 19－8 四日市南
暁 21－8 四日市商
〔順位〕①暁②四日市商③四日市南

北信越

長野県高校総体

（5月31日～6月2日／更埴市民体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦
上田千曲 24－23 富士見
臼田 27－9 中野

▼2回戦
屋代 38－8 上田千曲
野沢北 23－20 松川
上田 33－12 長野南
田川 33－15 北佐久農
野沢南 22－18 諏訪清陵
坂城 42－7 美須々
長野東 21－12 松本第一
小諸 42－5 臼田

▼3回戦
屋代 37－15 野沢北
上田 15－14 田川
坂城 35－13 野沢南
小諸 38－10 長野東

▼準決勝
屋代 17－15 上田
小諸 19－17 坂城

▼3位決定戦
上田 21－14 坂城

▼決勝
屋代 19（11－8、12－5）17 小諸

〈女子〉

▼1回戦
臼田 21－16 蟻ヶ崎
小諸商 43－6 小海
北佐久農 15－14 更級農
美須々 22－5 上田千曲

▼2回戦
屋代 32－9 臼田
小諸商 12－9 田川
塩尻 35－8 北佐久農
佐久 42－5 美須々

▼準決勝
屋代 15－5 小諸商
佐久 21－6 塩尻

▼3位決定戦
小諸商 18－6 塩尻

▼決勝
屋代 15（8－5、7－4）9 佐久

中国

中国一般選手権

（5月17～19日／松江市総合体育館、松江工高体育館）

〈男子〉

▼1回戦
広島経済大（広島）21－12 児島ク（岡山）
岩国ク（山口）35－22 松江ク（島根）
岡山教員（岡山）37－9 鳥取大（鳥取）
境港ク（鳥取）23－13 江津ク（島根）
下関ク（山口）29－20 岡山大（岡山）
倉吉ク（鳥取）18－17 白桃ク（岡山）
山口県教員団（山口）28－7 マツダ（広島）

▼2回戦
岩国ク 27－18 広島経済大
岡山教員 26－24 広島教員
境港ク 27－24 下関ク
山口教員 38－21 倉吉ク

▼準決勝
岡山教員 28－18 岩国ク
山口教員 20－17 境港ク

▼決勝
山口教員 22（14－6、8－11）17 岡山教員

〈女子〉

▼1回戦
境港ク（鳥取）24－14 松江ク（島根）
虹の会（岡山）17－9 山口ク（山口）
広島ク（広島）21－8 江津ク（島根）

▼準決勝
徳山ク（山口）36－7 境港ク

虹の会 16－13 広島ク

▼決勝

徳山ク 34 (23－6、11－4) 10 虹の会

山口県高校総体

（6月1〜3日／岩国商高ほか）

〈男子〉

▼1回戦

防府商 23－16 聖光
小野田工 27－24 下関西
田部 26－19 広瀬
華陵 24－13 野田学園
下松 21－11 西京
下関工 27－7 南陽工
宇部工 21－20 早鞆
下関第一 18－9 防府西
下関中央工 29－14 徳山工
徳山商 21－11 山口

▼2回戦

下松工 32－6 防府商
小野田工 30－12 田部
岩陽 28－11 華陵
下松 17－14 岩国
徳山 16－7 下関工
高水 28－9 宇部工
下関中央工 29－14 徳山工
岩国工 25－13 徳山商

▼3回戦

下松工 28－12 小野田工
岩陽 26－13 下松
高水 17－16 徳山
岩国工 21－12 下関中央工

▼準決勝

下松工 24－16 岩陽
岩国工 24－14 高水

▼決勝

下松工 23 (13－7、10－7) 14 岩国工

〈女子〉

▼1回戦

岩国商 19－9 長府
熊毛北 22－4 防府西
岩国 35－2 新南陽
徳山 27－8 響
徳山商 39－4 山口中央
高水 24－11 西京
岩陽 34－3 田部
華陵 25－3 防府商

▼2回戦

岩国商 25－15 熊毛北
徳山 19－8 岩国
徳山商 21－11 高水
華陵 38－5 岩陽

▼準決勝

岩国商 12－10 徳山
徳山商 23－13 華陵

▼決勝

岩国商 24 (10－9、8－9、1－1、1－1、2－0、2－2) 22 徳山商

四国

愛媛県高校総体

（6月1、3、4日／県総合運動公園体育館）

〈男子〉

▼1回戦

松山商 20－19 新田
松山東 28－11 吉田

▼2回戦

松山南 21－15 松山商
松山工 22－19 宇和島南
今治東 20－7 新居浜商
今治西 25－15 伊予
松山北 25－9 松山西
松山中央 14－13 新居浜西
今治工 26－6 新居浜東
新居浜工 25－15 松山東

▼3回戦

松山南 23－18 松山工
松山北 19－12 松山中央
今治西 21－7 今治東
新居浜工 22－7 今治工

▼準決勝

今治西 26－16 松山南
新居浜工 26－12 松山北

▼3位決定戦

松山南 24－20 松山北

▼決勝

今治西 19 (11－7、8－9) 16 新居浜工

〈女子〉

▼1回戦

新居浜商 22－12 弓削
三間 11－4 小松

▼2回戦

松山北 34－4 三崎
今治西 19－13 東温
伊予農 19－16 松山商
今治東 27－2 大島
松山西 18－10 松北中島
今治南 14－4 松山中央
新居浜東 19－6 伊予
今治北 13－12 新居浜商

▼3回戦

松山北 18－12 今治西
今治東 36－7 伊予農
今治南 19－7 松山西
今治北 22－5 新居浜東

▼準決勝

今治北 19－5 今治南
今治東 20－16 松山北

▼3位決定戦

松山北 17－16 今治南

▼決勝

今治北 18 (8－3、10－9) 12 今治東

九州

全国高校福岡県予選

（6月2、9日／福岡高校ほか）

〈男子〉

▼1回戦

久工大附 35－6 武蔵台
太宰府 17－6 田川工
小倉工 19－13 西南
泰星 12－9 香椎
若松 16－14 春日
新宮 7－6 福岡西陵
福岡 19－9 三池
九州産 40－5 小倉西

▼2回戦

久工大附 26－3 太宰府
泰星 21－11 小倉工
若松 15－8 新宮
九州産 17－13 福岡

▼準決勝

久工大附 27－7 泰星
九州産 21－20 若松

▼決勝

久工大附 22 (10－5、12－7) 12 九州産

〈女子〉

▼1回戦

須恵 8－7 浮羽
春日 16－9 三井
武蔵台 14－7 小倉商
福岡 15－10 宇美商

▼2回戦

筑紫女 26－0 須恵
春日 14－6 香椎
新宮 18－13 武蔵台
九州女 20－4 福岡

▼準決勝

筑紫女 16－8 春日
九州女 30－8 新宮

▼決勝

九州女 18 (9－4、9－5) 9 筑紫女

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第三一一号
昭和四十年六月七日 平成三年六月二十六日 印刷
第三種郵便物認可 平成三年八月一日 発行
東京都渋谷区神南一—一—一 編集兼
電話 代表 三四八一—二三六一
振替 東京 六—五八三四八番 発行人
安藤純光
定価三百五拾円
(年間購読料
三千三百円)